

米に関するマンスリーレポート (令和6年2月号)



うちの郷土料理 鹿児島県 鶏飯
次世代に伝えたい大切な味

出典: 農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは
⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

鹿児島県

鶏飯（けいはん）

主な伝承地域

鹿児島県 奄美地域

主な使用食材

米、鶏肉、干しいたけ、卵、パパイヤの味噌漬け、ねぎ、みかんの皮、のり

歴史・由来・関連行事

「鶏飯」は、ほぐした鶏肉、干しいたけ、錦糸卵、パパイヤの味噌漬け、みかんの皮などを、白いごはんの上にのせ、鶏ガラのスープをかけて食べる、奄美地域を代表する郷土料理である。

かつて、奄美群島が薩摩藩の支配下に置かれていた時代、鹿児島本土からやってくる役人たちの威圧的な態度を少しでも和らげるためにつくられたのがはじまりだといわれる。当時、非常に貴重なものであった鶏を余すことなく使ってつくった「鶏飯」で役人たちをもてなしたという。また、このころはまだスープをかける風習はなく、鶏の炊き込みごはん風にして食べていた。昭和に入ってから鶏ガラのスープをかけて食べるアレンジが浸透し、いまではそれが一般的となっている。

食習の機会や時季

年間を通してよく食べられている。祝い事やもてなしの席などでよくつくられ食されている。

飲食方法

水が入った鍋に、鶏ガラ、しょうがを入れ、火にかけたら、ここへ鶏肉（ささみ）を入れてゆでる。鶏肉に火が通ったら、冷まして細く裂き、残った汁はこしてスープにする。しいたけ、さやいんげんは千切り、卵は錦糸卵にしたら、「パパイヤの味噌漬け」などととも、皿にきれいに並べる。ごはんを用意したら、そこへ具材を彩りよく盛り付け、スープをかけて食べる。この時、ごはんは少なめ、スープ多めにして、さらさらとかきこむようにして食べるのが良しとされる。

鶏ガラからしっかりとったスープは、コラーゲンの旨味なども相まって、非常にコクのある仕上がりになる。家庭で簡略してつくる場合は鶏ガラスープの素を使うこともある。

材料（1人分）

・米	320g	・干しいたけ	8g
・水	480cc	・干しいたけ戻し汁	80cc
・鶏ガラ	240g	・卵	2個
・水	800cc	・【C】 砂糖（上白糖）	少々
・しょうが（薄切り）	少々	・【C】 塩	少々
・鶏ささみ	60g	・さやいんげん	80g
・【A】 塩	少々	・塩	少々
・【A】 清酒	小さじ2	・葉ねぎ	20g
・【A】 淡口醤油	大さじ1	・パパイヤの味噌漬け	40g
・【A】 本みりん	小さじ2	・みかんの皮	少々
・【B】 淡口醤油	小さじ2	・焼きのり	少々
・【B】 本みりん	小さじ1		

作り方

- （下ごしらえ）干しいたけは洗って水で戻し、戻した汁はだし汁として使う。米は炊く30分前にといて、分量の水に浸しておく。鶏ガラはよく洗って余分なものを取り除く。葉ねぎ、パパイヤの味噌漬け、みかんの皮はみじん切りに、焼きのりは千切りにする。
- 米は普通に炊く。
- 水（800cc）をはった鍋に、鶏ガラ、皮付きのしょうがを入れて火にかける。
- アクを取り除きながら弱火で1時間くらい煮たら、鶏ささみを入れてゆでる。
- 鶏ささみは取り出して細かく裂き、だし汁はこし、【A】を入れてスープとして使う。
- 【B】と干しいたけの戻し汁を火にかけ、千切りにしたしいたけを煮含める。
- さやいんげんは塩ゆでし、細めの千切りにする。
- 溶いた卵に【C】を混ぜてフライパンで薄く焼き、錦糸卵をつくる。
- 鶏ささみ、しいたけ、錦糸卵、さやいんげん、葉ねぎ、パパイヤ漬け、みかんの皮、のりを皿にきれいに盛り付ける。
- ごはんを茶碗に盛り、8をかたち良くのせて5のスープをたっぷりかけていただく。

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

出典：農林水産省「うちの郷土料理」

目次（令和6年2月号）

特集

- 1 令和6年能登半島地震で被災された米農家の皆様へ
- 2 令和6年度経営所得安定対策等の概要について
- 3 令和6年産備蓄米の政府買入れ入札について

特集-1

特集-2

特集-5

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）
- (2) 産地別民間在庫の状況
- (3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫-1

Excel

在庫-4

Excel

在庫-5

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和5年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 年産別の相対取引価格
- (2) 相対取引価格・数量（令和5年産米、産地品種銘柄別、令和5年12月分）（速報）
相対取引価格・数量（令和5年産米、産地品種銘柄別、令和6年1月分）（速報）
- (3) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和4・5年産米、産地品種銘柄別）（速報）

価格-1

価格-2

Excel

価格-4

Excel

価格-6

Excel

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年1月分）

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

価格-8

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 令和6年産備蓄米の政府買入

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/svorvu/kaiire/index.html>

- (1) 令和6年産備蓄米の政府買入予定数量
- (2) 令和6年産備蓄米の政府買入れの当面のスケジュール（予定）
- (3) 令和6年産備蓄米の政府買入れ入札の結果

契約-1

契約-1

契約-2

2 令和5年産米の産地別契約・販売状況

（累計、うるち米、令和5年12月末現在）（速報）

契約-3

Excel

3 事前契約（播種前契約）の取組状況

- (1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移（令和3年産～令和5年産）
- (2) 令和4・5年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

契約-6

契約-7

Excel

4 消費の動向

- | | |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査)
米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | 消費-1 |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)
総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | 消費-4 |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費-6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報) | 消費-8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ) | 消費-9 |

5 輸出入の動向

- | | |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績 | |
| (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移 | 輸出入-1 |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-2 |
| (3) 2023年のコメの輸出実績の主な増加要因 | 輸出入-3 |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-4 |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-5 |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-6 |
| (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-7 |
| (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-8 |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出入-9 |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)
農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html | 輸出入-11 |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和5年度) | 輸出入-12 |
| 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和5年度) | 輸出入-13 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和5年度) | 輸出入-14 |

6 主食用米以外の情報

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1)加工用米の生産量 | 主食外-1 |
| (2)新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 主食外-1 |
| (3)令和5年産 都道府県別の生産状況 | 主食外-2 |
| (4)加工用米及び新規需要米における多収性品種 | 主食外-3 |
| (5)新規需要米における米粉用向け専用品種 | 主食外-3 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1)主な米加工品の生産状況 | 主食外-4 |
| (2)令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 主食外-5 |
| (3)加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 主食外-6 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1)日本酒の出荷状況 | 主食外-7 |
| (2)日本酒原料米の使用状況 | 主食外-7 |
| (3)酒造好適米の生産量 | 主食外-8 |
| (4)酒造好適米の需要量 | 主食外-8 |

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

令和6年能登半島地震で被災された米農家の皆様へ

この度の令和6年能登半島地震により、被害を受けた米農家の皆様方が営農を継続できるよう、農林水産省をはじめ、政府一丸となって災害支援に取り組んでまいります。

水田等の応急復旧も補助対象となります

- 一定規模以上の災害復旧事業は国庫補助対象となり、災害査定前でも、**写真等の記録を残すことにより応急復旧に着手**することができます。
- 応急復旧を希望される場合は、市町村等とご相談ください。

水稲の作付継続や、他作物への転換に必要な取組を支援します

- 水稲の作付けが可能な農家に対し、被害を受けた**農業機械の再取得や修繕、レンタル等**に要する経費を支援します。
- 水稲の作付けが困難で、大豆など他の作物へ転換する場合には、**種子の購入や農作業委託等**に要する経費を支援します。
- 水稲を作付けせず、大豆やそばなどを作付けすることにより**水田活用交付金等の支援**を受けることができます。

農林水産関係被害への支援策の詳細については、こちらからご覧いただけます。

【農林水産省ホームページ】

<https://www.maff.go.jp/j/saigai/r6notojishin.html#package>



ご不明な点は、以下の農林水産省担当課までお気軽にお問い合わせください。

○応急復旧について

北陸農政局農村振興部防災課

電話：076-232-4727

農林水産省農村振興局整備部防災課災害対策室

電話：03-6744-2211

○水稲の作付継続・他作物への転換支援、農業機械のレンタル等について

北陸農政局生産部生産振興課

電話：076-232-4302

農林水産省農産局穀物課

電話：03-6744-2010

○農業機械の再取得・修繕について

北陸農政局経営・事業支援部経営支援課

電話：076-263-2161

農林水産省経営局経営政策課

電話：03-6744-2148

○水田活用交付金について

北陸農政局生産部生産振興課

電話：076-232-4302

農林水産省農産局企画課水田農業対策室

電話：03-3597-0191

令和6年度経営所得安定対策等の概要について

「令和6年度 経営所得安定対策等の概要」パンフレットを農林水産省ホームページ「農産」の「経営所得安定対策」に掲載しましたのでご覧ください。
【 https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/antei/keiei_antei.html 】



お気軽に、無料電話相談

フリーダイヤル



サア

ミナハイロー

0120-38-3786

受付時間：平日9:00～17:00 自動的にお住まいの地方農政局等に繋がります。

ご注意：携帯電話、PHS、公衆電話及びIP電話など一部の電話ではご利用いただくことができません。また、非通知設定のお電話からはお繋ぎできませんので、お手数ですが番号の前に「186」を押してお掛けください。

左記以外にも、最寄りの地方農政局等、地域農業再生協議会（市町村、JA等）までお気軽にご連絡ください。

畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

（所要額：1,992億円）

【認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（いずれも規模要件はありません。）】

数量払

生産量と品質に応じて交付

【令和5年産～7年産の平均交付単価】※ 交付単価は品質区分に応じて設定

対象作物	小麦 (円/60kg)	二条大麦 (円/50kg)	六条大麦 (円/50kg)	はちか麦 (円/60kg)	大豆 (円/60kg)	てん菜 (円/t)	でん粉 原料用 ばれいしょ (円/t)	そば (円/45kg)	なたね (円/60kg)
課税事業者 向け単価	5,930	5,810	4,850	8,630	9,430	5,070	14,280	16,720	7,710
免税事業者 向け単価	6,340	6,160	5,150	9,160	9,840	5,290	15,180	17,550	8,130

注1：てん菜の基準糖度は、16.6度

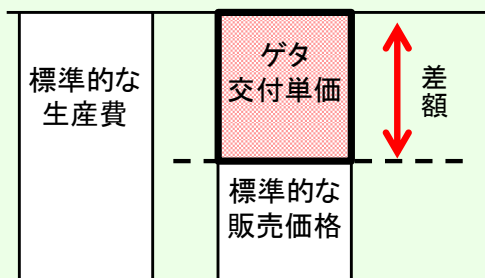
注2：でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.6%

面積払

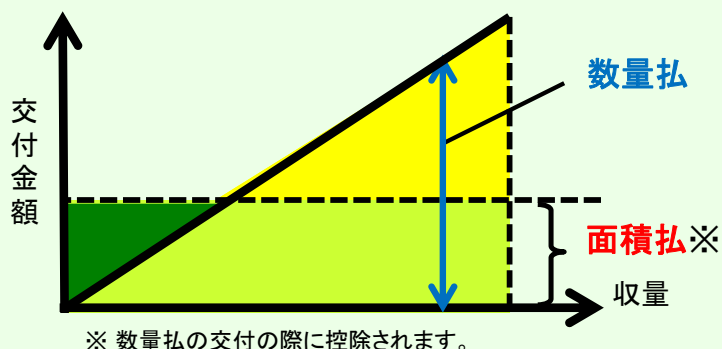
当年産の作付面積に応じて交付（数量払の先払い）

2.0万円/10a（そばは、1.3万円/10a）

＜交付単価のイメージ＞



＜数量払と面積払との関係＞



※ 数量払の交付の際に控除されます。

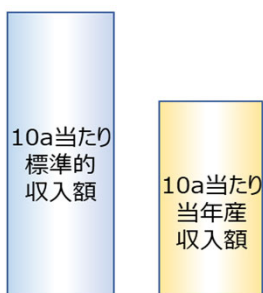
米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

（所要額：419億円）

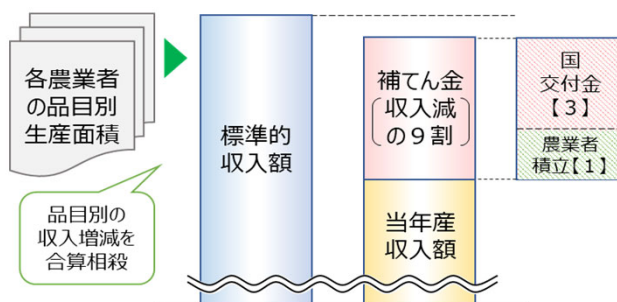
【認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（いずれも規模要件はありません。）】

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

地域・品目別の計算



農業者別の計算



※積立金は掛け捨てではありません。

水田活用の直接支払交付金及び関連対策

水田活用の直接支払交付金

(令和6年度予算概算決定額:2,905億円の内数)

戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※ ¹
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円~10.5万円/10a※ ²

※1 多年生牧草について、当年産において播種を行わず収穫のみを行う年は1万円/10aで支援

※2 飼料用米の一般品種について、令和6年度については標準単価7.5万円/10a(5.5~9.5万円/10a)。今後、標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a(5.5~7.5万円/10a)とする。(パンフレット21ページ参照)

産地交付金

地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色を活かした魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。

都道府県連携型助成

都道府県が転換拡大に取り組む生産者を独自に支援する場合に、国が追加的に支援します。

畑地化促進助成

(令和6年度予算概算決定額:2,905億円の内数)

(令和5年度補正予算「畑地化促進事業」と併せて実施)

畑地化促進事業

(令和5年度補正予算額:750億円)

水田の畑地化や畑地化後の畑作物の定着までの一定期間の支援のほか、農地利用の団地化等に向けた関係者間の調整や種子の確保、土地改良区の地区除外決済金等を支援します。

畑作物産地形成促進事業、コメ新市場開拓等促進事業

畑作物産地形成促進事業:(令和5年度補正予算額:180億円)

コメ新市場開拓等促進事業:(令和6年度予算概算決定額:110億円)

実需者との結び付きの下で、対象作物の低コスト生産等に取り組む生産者を支援します。

経営所得安定対策等推進事業等

(令和6年度予算概算決定額:71億円)

農林水産省共通申請サービス(通称:eMAFF)のシステム運用等経営所得安定対策等の交付金の手続等の事務に必要な経費を措置するとともに、対策の推進、水田収益力強化ビジョンの作成を行う都道府県、ドローン等の活用を含む作付面積の現地確認等を行う市町村等に対し必要な経費を助成します。

都道府県への助成に当たっては、対策加入者数・取組面積等にも配慮し、また、都道府県は上記事項に基づき、市町村等に適切に配分します。

令和6年産備蓄米の政府買入れ入札について

令和6年産の備蓄米の政府買入れ入札について、次のとおり実施します。

備蓄米は、不作により供給が減少する事態等に備えて蓄えておく、国民にとって重要なお米です。円滑な備蓄の運営に向け、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 令和6年産備蓄米の政府買入予定数量

備蓄米の政府買入予定数量	205,509トン
うちCPTPP分※	5,509トン

※ CPTPP分については、CPTPP協定に基づく豪州に対する国別枠の輸入量（前年1月から12月までに豪州から実際に輸入した数量）に相当する量を設定。

（単位：トン）

都道府県別優先枠（第2回）		174,270	
北海道	4,686	長野	1,449
青森	26,767	岐阜	423
岩手	3,415	静岡	19
宮城	11,176	愛知	835
秋田	21,022	三重	262
山形	19,487	滋賀	1,216
福島	25,726	鳥取	389
茨城	986	島根	126
栃木	6,084	岡山	822
埼玉	204	徳島	933
千葉	662	高知	10
新潟	23,386	福岡	52
富山	11,455	佐賀	214
石川	7,502	熊本	274
福井	4,597	大分	91
一般枠（指定なし）			24,602

2 令和6年産備蓄米の政府買入れの当面のスケジュール（予定）

入札日	契約締結時期	引渡開始時期
1月23日 （第1回）	令和6年4月末まで	令和6年9月2日
2月13日 （第2回）		

令和6年産備蓄米の政府買入れ入札に関する詳細については、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。

【<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>】

3 令和6年産備蓄米の政府買入札の結果

(単位：トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果	
		第1回 (R6.1.23)	落札合計数量
北海道	4,686	0	0
青森	28,586	1,819	1,819
岩手	3,415	0	0
宮城	11,276	100	100
秋田	21,322	300	300
山形	20,195	708	708
福島	26,313	587	587
茨城	1,086	100	100
栃木	6,184	100	100
群馬			
埼玉	204	0	0
千葉	662	0	0
東京都			
神奈川県			
新潟	24,499	1,113	1,113
富山	11,880	425	425
石川	7,841	339	339
福井	4,597	0	0
山梨			
長野	1,449	0	0
岐阜	423	0	0
静岡県	19	0	0
愛知県	835	0	0
三重	262	0	0
滋賀	1,327	111	111
京都			
大阪			
兵庫県			
奈良			
和歌山			
鳥取	389	0	0
島根	126	0	0
岡山	822	0	0
広島	28	28	28
山口			
徳島	933	0	0
香川			
愛媛			
高知	10	0	0
福岡	52	0	0
佐賀	214	0	0
長崎			
熊本	274	0	0
大分	91	0	0
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
都道府県別枠計	180,000	5,730	5,730
指定なし	25,509	907	907
合計	205,509	6,637	6,637
	うちCPTPP分		5,509

1 米の民間在庫情報

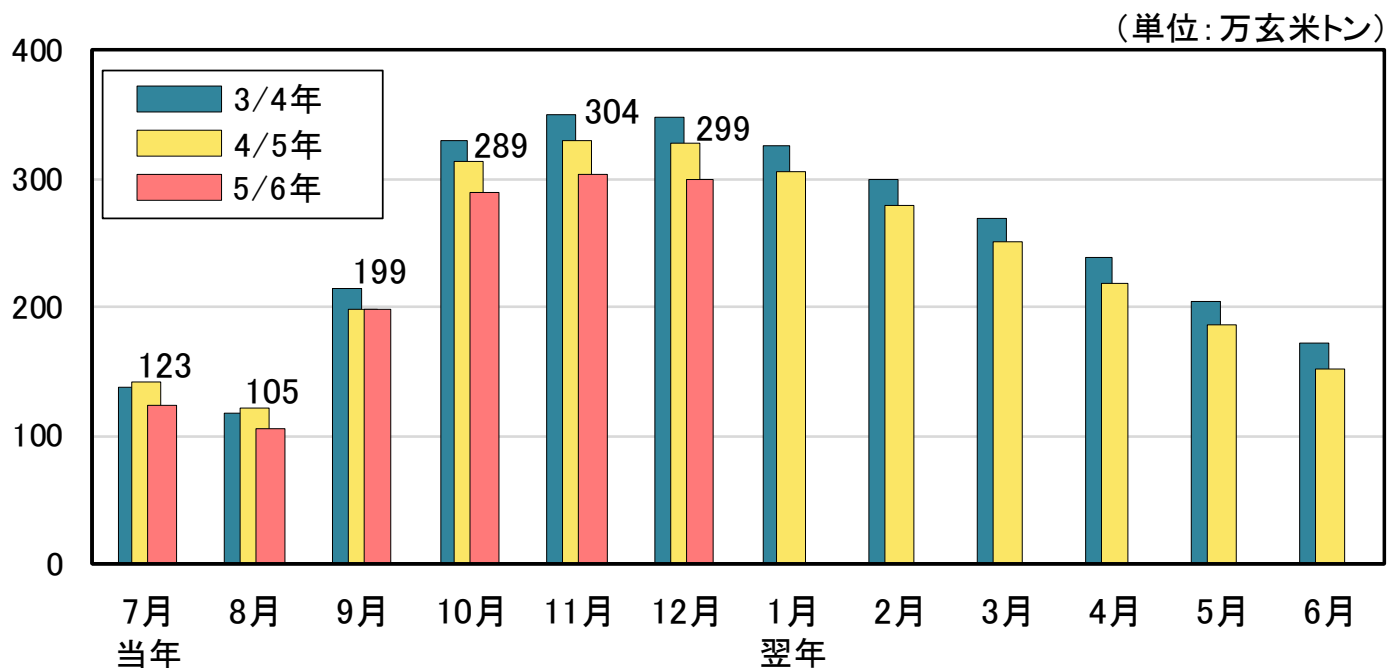
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和5年12月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲29万トンの299万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲29万トンの247万トン、販売段階で±0万トンの52万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	105	199	289	304	299						
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲29						
5年産米	1	14	132	232	255	260						
1年古米(4年産)	106	78	55	45	36	28						

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	162	236	250	247						
対前年差	▲21	▲19	▲5	▲26	▲27	▲29						
5年産米	0	10	114	201	221	225						
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	18						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52						
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0						
5年産米	0	4	18	32	34	35						
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況

単位：千玄米トン

	4年	4年	5年	対前年	対前年	5年	対前月差	対前年	対前年
	11月	12月	11月	同月差	同月比	12月		同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	331.4	342.0	284.2	▲ 47.2	▲ 14.3%	280.6	▲ 3.5	▲ 61.3	▲ 17.9%
青森	149.2	147.1	147.0	▲ 2.3	▲ 1.5%	144.1	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 2.0%
岩手	135.5	160.9	123.4	▲ 12.1	▲ 8.9%	135.8	12.4	▲ 25.1	▲ 15.6%
宮城	182.3	178.9	163.8	▲ 18.5	▲ 10.1%	168.7	4.9	▲ 10.2	▲ 5.7%
秋田	267.3	256.1	230.4	▲ 36.9	▲ 13.8%	229.3	▲ 1.2	▲ 26.8	▲ 10.5%
山形	188.3	196.7	181.2	▲ 7.0	▲ 3.7%	184.8	3.6	▲ 11.9	▲ 6.0%
福島	176.7	172.8	180.1	+ 3.4	+ 1.9%	182.7	2.6	+ 10.0	+ 5.8%
茨城	141.2	133.1	134.7	▲ 6.5	▲ 4.6%	124.8	▲ 9.9	▲ 8.4	▲ 6.3%
栃木	170.9	166.7	153.0	▲ 17.8	▲ 10.4%	151.9	▲ 1.2	▲ 14.8	▲ 8.9%
群馬	19.7	27.6	15.5	▲ 4.2	▲ 21.2%	18.5	3.0	▲ 9.2	▲ 33.2%
埼玉	42.7	42.1	34.4	▲ 8.3	▲ 19.5%	34.4	0.0	▲ 7.7	▲ 18.4%
千葉	78.7	70.4	71.8	▲ 6.9	▲ 8.8%	63.9	▲ 7.9	▲ 6.5	▲ 9.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	2.6	2.5	2.7	+ 0.1	+ 4.3%	2.6	▲ 0.1	+ 0.0	+ 0.7%
山梨	4.0	5.0	4.4	+ 0.4	+ 9.8%	5.3	1.0	+ 0.3	+ 6.0%
長野	78.1	75.8	79.2	+ 1.0	+ 1.3%	75.8	▲ 3.4	+ 0.0	+ 0.0%
静岡	21.6	20.0	24.8	+ 3.2	+ 14.8%	22.6	▲ 2.2	+ 2.7	+ 13.3%
新潟	293.7	266.6	298.4	+ 4.7	+ 1.6%	271.5	▲ 26.9	+ 4.9	+ 1.8%
富山	97.6	95.2	95.1	▲ 2.5	▲ 2.6%	88.3	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 7.2%
石川	78.6	71.8	79.2	+ 0.6	+ 0.8%	69.5	▲ 9.7	▲ 2.2	▲ 3.1%
福井	62.7	55.1	51.3	▲ 11.4	▲ 18.1%	46.4	▲ 4.9	▲ 8.8	▲ 15.9%
岐阜	24.9	33.9	29.3	+ 4.3	+ 17.4%	34.2	4.9	+ 0.3	+ 0.9%
愛知	36.2	39.1	32.3	▲ 3.9	▲ 10.8%	34.9	2.6	▲ 4.2	▲ 10.7%
三重	41.7	38.8	39.1	▲ 2.7	▲ 6.4%	34.9	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 10.1%
滋賀	64.5	59.3	55.6	▲ 9.0	▲ 13.9%	51.2	▲ 4.3	▲ 8.1	▲ 13.6%
京都	13.0	12.3	11.0	▲ 2.0	▲ 15.7%	10.4	▲ 0.6	▲ 1.9	▲ 15.4%
大阪	1.3	2.6	0.8	▲ 0.5	▲ 37.6%	1.9	1.1	▲ 0.6	▲ 24.8%
兵庫	50.4	49.5	45.4	▲ 5.0	▲ 9.9%	46.9	1.5	▲ 2.6	▲ 5.3%
奈良	12.8	12.4	11.7	▲ 1.1	▲ 8.5%	11.3	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 9.0%
和歌山	2.3	2.4	2.2	▲ 0.1	▲ 3.4%	2.2	0.0	▲ 0.2	▲ 7.7%
鳥取	26.2	29.9	21.3	▲ 4.8	▲ 18.5%	25.6	4.2	▲ 4.3	▲ 14.3%
島根	28.6	31.4	24.1	▲ 4.5	▲ 15.8%	26.7	2.6	▲ 4.7	▲ 14.9%
岡山	40.6	43.5	36.9	▲ 3.7	▲ 9.0%	37.9	1.0	▲ 5.5	▲ 12.7%
広島	46.6	43.3	47.9	+ 1.3	+ 2.9%	40.5	▲ 7.5	▲ 2.8	▲ 6.5%
山口	40.8	41.5	36.3	▲ 4.5	▲ 11.1%	34.7	▲ 1.5	▲ 6.8	▲ 16.4%
徳島	12.4	10.9	9.2	▲ 3.2	▲ 25.5%	7.6	▲ 1.6	▲ 3.3	▲ 30.2%
香川	17.4	18.9	17.8	+ 0.4	+ 2.5%	16.1	▲ 1.7	▲ 2.9	▲ 15.2%
愛媛	17.0	16.1	16.5	▲ 0.5	▲ 2.9%	15.7	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 2.4%
高知	11.3	10.4	9.1	▲ 2.2	▲ 19.7%	8.2	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 21.1%
福岡	66.1	74.0	60.1	▲ 6.0	▲ 9.0%	67.5	7.4	▲ 6.4	▲ 8.7%
佐賀	30.1	30.5	28.7	▲ 1.4	▲ 4.7%	31.4	2.6	+ 0.9	+ 2.9%
長崎	9.8	10.3	8.4	▲ 1.4	▲ 14.2%	8.8	0.4	▲ 1.5	▲ 14.9%
熊本	45.1	50.4	38.9	▲ 6.2	▲ 13.8%	45.5	6.6	▲ 4.8	▲ 9.6%
大分	20.1	22.1	18.9	▲ 1.2	▲ 5.8%	17.8	▲ 1.2	▲ 4.3	▲ 19.6%
宮崎	13.9	15.7	8.1	▲ 5.8	▲ 41.6%	9.2	1.1	▲ 6.5	▲ 41.4%
鹿児島	26.8	25.6	19.3	▲ 7.5	▲ 27.9%	17.5	▲ 1.8	▲ 8.1	▲ 31.7%
沖縄	0.3	0.2	0.2	▲ 0.1	▲ 27.1%	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 26.3%
全国	330万ト	328万ト	304万ト	▲ 26万ト	▲ 7.9%	299万ト	▲ 5万ト	▲ 29万ト	▲ 8.8%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	126.6	91.0	180.6	259.1	284.2	280.6						
	5年産米			118.5	203.7	239.7	245.3						
	1年古米(4年産)	112.6	79.8	54.0	48.6	38.6	30.7						
	出荷段階	96.4	66.9	144.5	198.6	226.4	221.3						
	5年産米			98.5	166.5	200.9	203.0						
	1年古米(4年産)	87.0	59.5	40.6	28.2	22.7	16.0						
	販売段階	30.2	24.1	36.1	60.5	57.7	59.4						
	5年産米			19.9	37.3	38.8	42.3						
	1年古米(4年産)	25.7	20.3	13.3	20.4	15.9	14.7						
青森	出荷＋販売段階	62.5	46.6	101.2	138.6	147.0	144.1						
	5年産米			67.5	110.5	124.9	128.0						
	1年古米(4年産)	58.6	43.4	31.2	26.2	20.7	15.1						
	出荷段階	48.4	34.7	89.5	119.8	128.5	124.9						
	5年産米			65.0	101.5	114.0	115.0						
	1年古米(4年産)	46.0	32.8	23.1	17.3	14.0	9.5						
	販売段階	14.1	11.9	11.7	18.8	18.4	19.2						
	5年産米			2.5	9.0	10.9	13.0						
	1年古米(4年産)	12.6	10.6	8.0	8.9	6.7	5.6						
岩手	出荷＋販売段階	62.0	46.2	52.4	110.3	123.4	135.8						
	5年産米			22.0	84.1	100.1	117.7						
	1年古米(4年産)	57.4	42.7	27.4	23.6	19.5	15.2						
	出荷段階	55.6	40.5	43.6	93.8	106.0	119.0						
	5年産米			19.5	74.9	89.5	106.5						
	1年古米(4年産)	51.7	37.3	21.4	16.6	14.5	11.1						
	販売段階	6.4	5.7	8.8	16.5	17.4	16.8						
	5年産米			2.5	9.2	10.6	11.2						
	1年古米(4年産)	5.7	5.4	6.0	7.0	5.0	4.1						
宮城	出荷＋販売段階	85.5	69.7	116.5	172.3	163.8	168.7						
	5年産米		0.0	61.5	124.6	129.8	145.3						
	1年古米(4年産)	79.5	64.6	50.1	43.3	30.2	20.7						
	出荷段階	75.2	60.5	102.8	148.6	142.9	147.0						
	5年産米		0.0	56.5	112.4	115.8	129.9						
	1年古米(4年産)	71.2	57.1	43.4	33.6	24.9	15.6						
	販売段階	10.4	9.2	13.7	23.7	20.9	21.7						
	5年産米		0.0	5.0	12.2	14.0	15.4						
	1年古米(4年産)	8.4	7.5	6.7	9.7	5.3	5.2						
秋田	出荷＋販売段階	73.3	48.8	113.4	229.7	230.4	229.3						
	5年産米			83.4	206.5	208.1	211.6						
	1年古米(4年産)	62.7	40.0	22.6	17.3	13.8	11.3						
	出荷段階	62.1	39.6	100.6	208.3	204.2	202.3						
	5年産米			76.8	190.5	189.9	191.0						
	1年古米(4年産)	53.1	31.8	17.3	12.7	10.0	8.2						
	販売段階	11.1	9.2	12.8	21.4	26.2	26.9						
	5年産米			6.6	16.0	18.2	20.6						
	1年古米(4年産)	9.6	8.2	5.3	4.7	3.8	3.0						

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	79.4	61.0	102.7	171.5	181.2	184.8						
	5年産米		0.0	58.1	132.7	148.6	161.5						
	1年古米(4年産)	73.9	56.6	41.1	35.8	29.3	20.3						
	出荷段階	67.8	50.4	91.0	151.2	159.6	164.8						
	5年産米			55.6	123.1	137.8	149.9						
	1年古米(4年産)	64.8	48.0	33.7	26.7	20.4	13.6						
	販売段階	11.6	10.7	11.7	20.2	21.6	20.0						
	5年産米		0.0	2.6	9.6	10.8	11.6						
	1年古米(4年産)	9.1	8.6	7.4	9.1	9.0	6.7						
福島	出荷＋販売段階	73.5	55.9	69.4	176.8	180.1	182.7						
	5年産米		0.0	26.4	138.3	146.9	154.1						
	1年古米(4年産)	71.0	53.9	41.5	37.0	32.0	27.5						
	出荷段階	56.4	40.5	52.6	147.0	148.3	150.4						
	5年産米			24.1	121.5	125.3	129.6						
	1年古米(4年産)	55.3	39.8	27.9	24.9	22.5	20.3						
	販売段階	17.1	15.4	16.9	29.8	31.8	32.4						
	5年産米		0.0	2.3	16.9	21.6	24.5						
	1年古米(4年産)	15.7	14.2	13.6	12.1	9.5	7.3						
茨城	出荷＋販売段階	46.3	54.9	125.7	136.1	134.7	124.8						
	5年産米		21.2	99.8	115.0	114.3	107.7						
	1年古米(4年産)	35.6	24.6	18.3	15.1	12.2	10.2						
	出荷段階	32.1	36.5	89.4	96.3	94.0	87.4						
	5年産米		13.8	72.4	83.6	83.7	78.4						
	1年古米(4年産)	22.9	14.9	10.7	7.8	6.4	5.8						
	販売段階	14.2	18.4	36.3	39.8	40.7	37.4						
	5年産米		7.4	27.5	31.4	30.6	29.2						
	1年古米(4年産)	12.6	9.7	7.6	7.3	5.7	4.4						
栃木	出荷＋販売段階	73.1	58.2	122.5	149.3	153.0	151.9						
	5年産米		0.1	76.8	113.3	126.0	132.5						
	1年古米(4年産)	57.4	45.2	35.1	27.3	20.4	15.2						
	出荷段階	58.4	46.8	103.1	120.9	126.1	125.7						
	5年産米		0.1	66.6	94.0	105.8	112.6						
	1年古米(4年産)	45.2	35.8	27.6	19.8	14.9	10.0						
	販売段階	14.7	11.4	19.4	28.4	27.0	26.2						
	5年産米		0.0	10.2	19.3	20.1	19.9						
	1年古米(4年産)	12.2	9.5	7.5	7.5	5.4	5.2						
群馬	出荷＋販売段階	11.4	9.0	6.7	5.6	15.5	18.5						
	5年産米			0.0	1.1	12.3	16.4						
	1年古米(4年産)	9.6	7.6	5.5	3.4	2.3	1.4						
	出荷段階	8.8	6.9	5.1	4.0	13.7	16.2						
	5年産米				0.8	11.5	15.0						
	1年古米(4年産)	7.6	6.1	4.4	2.6	1.7	0.9						
	販売段階	2.5	2.1	1.7	1.6	1.8	2.3						
	5年産米			0.0	0.3	0.8	1.4						
	1年古米(4年産)	1.9	1.6	1.2	0.8	0.6	0.5						
埼玉	出荷＋販売段階	16.4	13.2	20.7	27.4	34.4	34.4						
	5年産米		0.6	11.2	18.6	25.5	27.0						
	1年古米(4年産)	12.0	8.6	5.9	5.8	4.9	4.1						
	出荷段階	12.8	9.7	16.0	19.9	25.5	26.4						
	5年産米		0.1	8.8	13.8	20.2	21.9						
	1年古米(4年産)	8.4	5.7	3.7	3.3	3.0	2.7						
	販売段階	3.7	3.5	4.7	7.5	8.9	8.0						
	5年産米		0.4	2.4	4.8	5.3	5.1						
	1年古米(4年産)	3.6	2.9	2.2	2.5	1.9	1.4						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	13.4	51.7	83.1	79.0	71.8	63.9						
	5年産米	0.0	43.9	78.3	75.6	69.0	62.1						
	1年古米(4年産)	10.9	5.8	3.5	2.3	1.8	1.1						
	出荷段階	6.7	41.4	67.7	63.5	57.8	51.0						
	5年産米		39.1	66.6	62.7	57.2	50.7						
	1年古米(4年産)	4.9	0.9	0.4	0.3	0.2	0.0						
	販売段階	6.7	10.3	15.5	15.5	13.9	12.9						
	5年産米	0.0	4.7	11.8	12.9	11.8	11.4						
	1年古米(4年産)	5.9	4.9	3.1	2.0	1.6	1.1						
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	5年産米				0.0	0.0	0.0						
	1年古米(4年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階												
	5年産米												
	1年古米(4年産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	5年産米				0.0	0.0	0.0						
	1年古米(4年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
神奈川	出荷+販売段階	0.7	0.5	0.8	2.9	2.7	2.6						
	5年産米			0.6	2.9	2.6	2.6						
	1年古米(4年産)	0.7	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.7	0.4	0.7	2.8	2.6	2.5						
	5年産米			0.6	2.8	2.5	2.5						
	1年古米(4年産)	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1						
	5年産米			0.0	0.1	0.1	0.1						
	1年古米(4年産)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0							
山梨	出荷+販売段階	2.2	1.6	2.8	4.5	4.4	5.3						
	5年産米			1.5	3.5	3.5	4.7						
	1年古米(4年産)	2.1	1.6	1.3	1.0	0.8	0.7						
	出荷段階	1.9	1.3	2.6	4.3	4.0	4.8						
	5年産米			1.5	3.4	3.2	4.3						
	1年古米(4年産)	1.9	1.3	1.1	0.9	0.8	0.6						
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5						
	5年産米			0.0	0.1	0.3	0.4						
	1年古米(4年産)	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1						
長野	出荷+販売段階	32.3	27.0	38.1	70.2	79.2	75.8						
	5年産米		0.0	16.7	49.3	62.8	62.7						
	1年古米(4年産)	31.8	26.5	21.1	20.5	16.1	12.8						
	出荷段階	28.9	24.0	34.0	60.7	70.6	68.0						
	5年産米			15.4	45.6	58.1	58.1						
	1年古米(4年産)	28.7	23.8	18.5	14.9	12.5	9.8						
	販売段階	3.5	3.0	4.1	9.5	8.5	7.8						
	5年産米		0.0	1.3	3.7	4.7	4.6						
	1年古米(4年産)	3.0	2.7	2.5	5.6	3.6	3.0						
静岡	出荷+販売段階	4.2	6.8	18.2	24.8	24.8	22.6						
	5年産米		4.0	16.3	23.6	24.1	22.1						
	1年古米(4年産)	4.2	2.8	1.9	1.2	0.8	0.5						
	出荷段階	1.0	2.6	10.9	16.6	17.2	16.0						
	5年産米		2.1	10.5	16.3	17.0	15.8						
	1年古米(4年産)	1.0	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1						
	販売段階	3.2	4.2	7.2	8.2	7.6	6.7						
	5年産米		1.9	5.8	7.3	7.1	6.3						
	1年古米(4年産)	3.2	2.3	1.5	1.0	0.6	0.4						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	88.0	65.0	238.9	296.5	298.4	271.5						
	5年産米		1.9	194.5	259.7	266.0	243.8						
	1年古米(4年産)	82.5	58.5	40.4	33.3	28.6	24.1						
	出荷段階	73.8	53.2	215.2	262.8	264.4	237.4						
	5年産米		1.6	178.7	233.8	239.2	215.7						
	1年古米(4年産)	69.4	47.9	33.2	26.0	22.4	19.0						
	販売段階	14.2	11.8	23.8	33.8	34.0	34.1						
	5年産米		0.2	15.8	25.9	26.8	28.2						
	1年古米(4年産)	13.0	10.6	7.2	7.3	6.2	5.1						
富山	出荷+販売段階	33.9	28.6	76.9	96.4	95.1	88.3						
	5年産米		2.1	55.9	83.6	82.6	78.6						
	1年古米(4年産)	32.9	25.9	20.6	12.6	12.3	9.6						
	出荷段階	28.7	22.8	68.7	84.2	82.6	77.7						
	5年産米		1.2	52.0	78.3	77.4	73.1						
	1年古米(4年産)	28.7	21.6	16.7	5.9	5.2	4.7						
	販売段階	5.2	5.7	8.2	12.2	12.5	10.6						
	5年産米		1.0	3.9	5.3	5.2	5.5						
	1年古米(4年産)	4.2	4.2	3.9	6.7	7.1	4.9						
石川	出荷+販売段階	25.3	25.6	72.7	81.4	79.2	69.5						
	5年産米		6.7	57.3	68.0	65.7	59.5						
	1年古米(4年産)	18.5	13.3	10.4	9.0	7.0	4.4						
	出荷段階	20.5	19.6	54.5	60.4	56.6	49.6						
	5年産米		4.2	41.7	49.9	48.1	43.4						
	1年古米(4年産)	14.7	10.6	8.5	6.8	5.1	3.4						
	販売段階	4.8	6.0	18.2	21.0	22.6	20.0						
	5年産米		2.5	15.6	18.1	17.6	16.1						
	1年古米(4年産)	3.8	2.7	1.9	2.3	1.8	1.1						
福井	出荷+販売段階	16.2	20.4	45.2	57.8	51.3	46.4						
	5年産米		9.7	38.0	53.3	48.2	44.0						
	1年古米(4年産)	15.5	10.3	7.0	4.3	3.0	2.3						
	出荷段階	12.2	12.1	29.3	41.5	36.5	32.7						
	5年産米		3.9	24.3	38.9	34.4	31.1						
	1年古米(4年産)	11.8	8.0	4.9	2.7	2.1	1.6						
	販売段階	4.0	8.2	15.9	16.3	14.8	13.7						
	5年産米		5.7	13.7	14.5	13.8	12.9						
	1年古米(4年産)	3.7	2.3	2.1	1.7	0.9	0.7						
岐阜	出荷+販売段階	17.0	15.4	15.9	21.5	29.3	34.2						
	5年産米		1.1	5.1	13.0	23.9	30.7						
	1年古米(4年産)	15.1	12.9	9.8	7.7	4.7	2.8						
	出荷段階	13.6	11.2	11.9	16.0	23.9	29.2						
	5年産米		0.8	4.0	10.7	21.0	27.6						
	1年古米(4年産)	12.5	9.6	7.5	4.9	2.5	1.3						
	販売段階	3.4	4.3	4.0	5.5	5.4	5.0						
	5年産米		0.4	1.1	2.3	2.9	3.2						
	1年古米(4年産)	2.6	3.3	2.3	2.7	2.2	1.5						
愛知	出荷+販売段階	12.5	11.3	18.0	24.5	32.3	34.9						
	5年産米		2.1	11.8	20.6	29.2	32.5						
	1年古米(4年産)	12.1	8.9	5.9	3.6	2.9	2.1						
	出荷段階	10.2	9.0	13.9	18.2	25.3	28.3						
	5年産米		1.5	9.6	17.2	24.5	27.6						
	1年古米(4年産)	10.2	7.4	4.3	1.0	0.8	0.7						
	販売段階	2.3	2.3	4.0	6.3	7.0	6.6						
	5年産米		0.6	2.2	3.4	4.7	4.9						
	1年古米(4年産)	1.9	1.4	1.5	2.6	2.1	1.4						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	8.0	15.8	38.6	42.5	39.1	34.9						
	5年産米		11.0	35.0	39.6	36.7	32.9						
	1年古米(4年産)	6.7	3.7	2.7	2.1	1.7	1.4						
	出荷段階	4.6	11.4	32.1	35.2	32.2	28.5						
	5年産米		9.1	30.4	34.1	31.4	27.7						
	1年古米(4年産)	4.1	2.0	1.4	0.9	0.7	0.6						
	販売段階	3.4	4.4	6.5	7.3	6.9	6.3						
	5年産米		1.9	4.6	5.4	5.3	5.1						
	1年古米(4年産)	2.6	1.8	1.3	1.2	1.0	0.7						
滋賀	出荷+販売段階	19.7	16.8	53.9	56.1	55.6	51.2						
	5年産米		2.8	40.1	44.7	45.7	43.1						
	1年古米(4年産)	18.6	13.2	13.1	10.9	9.3	7.7						
	出荷段階	14.7	12.6	44.2	46.4	46.5	42.9						
	5年産米		2.4	37.8	41.2	42.1	39.4						
	1年古米(4年産)	14.5	10.0	6.2	5.1	4.4	3.5						
	販売段階	5.0	4.2	9.7	9.7	9.1	8.3						
	5年産米		0.4	2.3	3.5	3.7	3.7						
	1年古米(4年産)	4.1	3.1	6.8	5.8	4.9	4.1						
京都	出荷+販売段階	4.0	2.4	8.2	10.9	11.0	10.4						
	5年産米		0.1	6.9	10.3	10.7	10.2						
	1年古米(4年産)	4.0	2.3	1.3	0.6	0.3	0.2						
	出荷段階	3.2	1.6	7.4	9.9	10.0	9.3						
	5年産米		0.1	6.7	9.8	10.0	9.3						
	1年古米(4年産)	3.2	1.6	0.8	0.1	0.0	0.0						
	販売段階	0.8	0.7	0.8	1.0	0.9	1.0						
	5年産米		0.0	0.2	0.5	0.6	0.9						
	1年古米(4年産)	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2						
大阪	出荷+販売段階	0.8	0.6	0.7	0.7	0.8	1.9						
	5年産米			0.3	0.5	0.6	1.8						
	1年古米(4年産)	0.8	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1						
	出荷段階	0.7	0.5	0.6	0.5	0.7	1.8						
	5年産米			0.3	0.5	0.6	1.8						
	1年古米(4年産)	0.7	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0						
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1						
	5年産米				0.0	0.0	0.1						
	1年古米(4年産)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0						
兵庫	出荷+販売段階	18.2	14.2	22.0	35.4	45.4	46.9						
	5年産米		0.0	16.3	32.3	43.2	45.2						
	1年古米(4年産)	17.6	13.8	5.4	2.9	2.1	1.7						
	出荷段階	14.8	11.3	18.6	30.6	40.7	42.5						
	5年産米			15.3	29.5	40.1	42.0						
	1年古米(4年産)	14.8	11.3	3.2	1.0	0.6	0.5						
	販売段階	3.4	2.9	3.4	4.8	4.7	4.4						
	5年産米		0.0	1.0	2.7	3.1	3.2						
	1年古米(4年産)	2.9	2.5	2.2	1.9	1.5	1.2						
奈良	出荷+販売段階	5.8	4.7	4.7	9.5	11.7	11.3						
	5年産米			1.1	6.7	9.3	9.3						
	1年古米(4年産)	5.1	4.1	3.1	2.5	2.2	1.8						
	出荷段階	4.5	3.7	3.8	7.9	9.8	9.5						
	5年産米			1.0	5.7	8.0	8.1						
	1年古米(4年産)	3.9	3.2	2.5	2.1	1.8	1.4						
	販売段階	1.3	1.0	0.9	1.7	1.9	1.7						
	5年産米			0.1	0.9	1.3	1.2						
	1年古米(4年産)	1.1	0.9	0.6	0.4	0.3	0.4						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	1.3	1.1	1.4	2.3	2.2	2.2						
	5年産米			0.6	1.7	1.8	1.9						
	1年古米(4年産)	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.2						
	出荷段階			0.6	1.5	1.5	1.4						
	5年産米			0.6	1.5	1.5	1.4						
	1年古米(4年産)												
	販売段階	1.3	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8						
	5年産米			0.1	0.2	0.3	0.6						
	1年古米(4年産)	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.2						
鳥取	出荷+販売段階	9.6	6.7	11.5	21.6	21.3	25.6						
	5年産米		0.1	6.7	18.1	18.8	23.6						
	1年古米(4年産)	9.1	6.3	4.6	3.4	2.5	2.0						
	出荷段階	8.1	5.6	10.3	18.5	18.6	23.1						
	5年産米		0.1	6.3	16.2	16.7	21.5						
	1年古米(4年産)	7.8	5.3	3.9	2.3	1.8	1.6						
	販売段階	1.5	1.1	1.1	3.0	2.8	2.5						
	5年産米			0.4	1.9	2.1	2.1						
	1年古米(4年産)	1.3	1.0	0.7	1.1	0.7	0.4						
島根	出荷+販売段階	11.6	9.1	18.3	25.7	24.1	26.7						
	5年産米		0.4	12.5	21.8	21.0	24.4						
	1年古米(4年産)	10.8	8.0	5.3	3.6	2.8	2.0						
	出荷段階	9.5	7.0	16.1	21.5	19.9	23.0						
	5年産米		0.4	11.4	19.7	18.5	21.9						
	1年古米(4年産)	9.0	6.2	4.4	1.8	1.3	1.1						
	販売段階	2.1	2.1	2.2	4.2	4.2	3.7						
	5年産米		0.0	1.1	2.2	2.4	2.5						
	1年古米(4年産)	1.8	1.8	0.9	1.8	1.4	0.9						
岡山	出荷+販売段階	18.2	13.1	15.1	27.7	36.9	37.9						
	5年産米		0.0	7.3	22.1	33.0	34.9						
	1年古米(4年産)	17.9	12.8	7.7	5.6	3.9	3.0						
	出荷段階	13.3	9.7	10.9	22.1	30.8	30.9						
	5年産米		0.0	6.1	19.3	29.0	29.5						
	1年古米(4年産)	13.3	9.6	4.9	2.8	1.8	1.4						
	販売段階	4.9	3.4	4.2	5.6	6.2	7.0						
	5年産米		0.0	1.2	2.8	4.0	5.4						
	1年古米(4年産)	4.6	3.2	2.8	2.7	2.1	1.6						
広島	出荷+販売段階	14.2	10.2	26.8	49.1	47.9	40.5						
	5年産米		0.2	19.6	44.4	44.2	37.7						
	1年古米(4年産)	12.6	9.0	6.3	4.1	3.2	2.3						
	出荷段階	9.2	6.6	22.7	42.3	41.9	34.8						
	5年産米		0.1	18.4	41.3	41.1	34.5						
	1年古米(4年産)	9.2	6.4	4.2	1.1	0.8	0.3						
	販売段階	5.0	3.6	4.1	6.8	6.0	5.6						
	5年産米		0.0	1.2	3.1	3.1	3.2						
	1年古米(4年産)	3.4	2.6	2.1	3.0	2.4	2.0						
山口	出荷+販売段階	18.0	14.5	22.7	35.0	36.3	34.7						
	5年産米		0.4	12.1	26.1	27.2	27.4						
	1年古米(4年産)	14.0	10.7	7.7	6.5	5.0	3.7						
	出荷段階	15.5	12.2	20.4	31.6	30.9	29.7						
	5年産米		0.3	11.5	24.6	25.4	25.5						
	1年古米(4年産)	11.8	8.6	6.4	4.6	3.5	2.5						
	販売段階	2.5	2.3	2.3	3.4	5.4	5.0						
	5年産米		0.1	0.6	1.5	1.8	2.0						
	1年古米(4年産)	2.2	2.0	1.4	1.9	1.5	1.3						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	1.8	7.8	11.8	10.3	9.2	7.6						
	5年産米		6.8	11.0	9.8	8.8	7.2						
	1年古米(4年産)	1.6	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3						
	出荷段階	0.7	6.0	9.2	7.8	6.8	5.6						
	5年産米		5.6	9.1	7.7	6.7	5.5						
	1年古米(4年産)	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.1	1.8	2.6	2.6	2.4	2.1						
	5年産米		1.1	1.9	2.2	2.1	1.8						
	1年古米(4年産)	1.0	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3						
香川	出荷+販売段階	6.3	4.1	5.3	12.1	17.8	16.1						
	5年産米		0.2	2.9	10.7	16.9	15.4						
	1年古米(4年産)	6.0	3.8	2.3	1.3	0.8	0.5						
	出荷段階	5.4	3.2	3.9	10.3	16.3	14.6						
	5年産米			2.2	9.5	16.0	14.4						
	1年古米(4年産)	5.3	3.2	1.7	0.8	0.3	0.2						
	販売段階	0.8	1.0	1.4	1.8	1.5	1.5						
	5年産米		0.2	0.8	1.2	1.0	1.1						
	1年古米(4年産)	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3						
愛媛	出荷+販売段階	7.2	7.4	9.7	15.2	16.5	15.7						
	5年産米		1.6	5.0	11.3	13.0	12.9						
	1年古米(4年産)	6.2	5.0	4.0	3.4	3.0	2.5						
	出荷段階	6.4	6.6	9.0	14.5	15.8	15.1						
	5年産米		1.6	4.9	11.0	12.7	12.5						
	1年古米(4年産)	5.5	4.3	3.6	3.1	2.7	2.3						
	販売段階	0.8	0.8	0.6	0.7	0.7	0.6						
	5年産米		0.1	0.1	0.3	0.4	0.4						
	1年古米(4年産)	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2						
高知	出荷+販売段階	3.4	9.6	8.6	9.9	9.1	8.2						
	5年産米	0.6	7.4	6.8	8.4	7.7	7.1						
	1年古米(4年産)	2.3	1.8	1.5	1.3	1.1	1.0						
	出荷段階	0.6	3.7	3.0	4.4	4.1	1.3						
	5年産米	0.4	3.6	3.0	4.4	4.0	1.2						
	1年古米(4年産)	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	2.8	5.9	5.5	5.5	5.0	7.0						
	5年産米	0.2	3.8	3.8	4.0	3.7	5.9						
	1年古米(4年産)	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1	1.0						
福岡	出荷+販売段階	25.7	17.2	27.7	45.5	60.1	67.5						
	5年産米		1.6	17.1	34.8	51.1	60.3						
	1年古米(4年産)	24.3	14.7	10.0	10.3	8.8	7.0						
	出荷段階	21.9	12.7	20.7	32.9	49.2	58.3						
	5年産米		1.1	13.1	28.2	45.2	55.2						
	1年古米(4年産)	21.8	11.5	7.5	4.7	4.0	3.1						
	販売段階	3.7	4.5	7.0	12.6	10.9	9.2						
	5年産米		0.5	3.9	6.6	5.9	5.1						
	1年古米(4年産)	2.5	3.2	2.5	5.6	4.8	3.9						
佐賀	出荷+販売段階	15.5	12.2	11.7	26.4	28.7	31.4						
	5年産米		0.1	2.7	19.4	23.2	27.3						
	1年古米(4年産)	14.6	11.5	8.5	6.6	5.3	3.9						
	出荷段階	13.4	10.5	10.4	22.8	25.9	28.8						
	5年産米		0.1	2.5	18.4	21.8	25.4						
	1年古米(4年産)	13.4	10.5	7.9	4.3	4.1	3.4						
	販売段階	2.1	1.7	1.3	3.6	2.8	2.6						
	5年産米		0.1	0.2	1.0	1.4	2.0						
	1年古米(4年産)	1.2	1.0	0.6	2.3	1.2	0.5						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.4	3.0	2.7	7.1	8.4	8.8						
	5年産米		0.6	1.1	6.0	7.6	8.2						
	1年古米(4年産)	3.0	2.1	1.3	0.9	0.6	0.5						
	出荷段階	2.7	2.4	2.1	6.2	7.6	8.1						
	5年産米		0.5	1.1	5.8	7.3	7.9						
	1年古米(4年産)	2.7	1.9	1.1	0.4	0.3	0.2						
	販売段階	0.7	0.6	0.5	0.9	0.7	0.7						
	5年産米		0.0	0.1	0.2	0.2	0.3						
	1年古米(4年産)	0.3	0.2	0.2	0.5	0.3	0.2						
熊本	出荷+販売段階	15.3	12.5	12.3	25.8	38.9	45.5						
	5年産米		1.9	5.6	22.2	36.4	43.6						
	1年古米(4年産)	13.6	9.2	5.5	2.5	1.6	1.2						
	出荷段階	10.3	7.2	6.2	15.2	28.2	35.9						
	5年産米		1.0	3.1	14.4	27.8	35.6						
	1年古米(4年産)	10.0	5.9	2.9	0.6	0.3	0.2						
	販売段階	5.0	5.3	6.1	10.6	10.7	9.7						
	5年産米		0.9	2.4	7.8	8.6	8.0						
	1年古米(4年産)	3.7	3.3	2.6	1.9	1.3	1.0						
大分	出荷+販売段階	7.5	6.0	5.7	14.2	18.9	17.8						
	5年産米		0.5	2.1	11.1	16.6	16.1						
	1年古米(4年産)	6.8	5.0	3.3	3.0	2.3	1.6						
	出荷段階	4.8	3.9	3.7	9.2	13.5	12.7						
	5年産米		0.4	1.5	7.8	12.4	12.0						
	1年古米(4年産)	4.5	3.3	2.0	1.4	1.1	0.8						
	販売段階	2.7	2.1	2.0	5.0	5.4	5.0						
	5年産米		0.1	0.5	3.4	4.2	4.1						
	1年古米(4年産)	2.2	1.8	1.3	1.6	1.2	0.9						
宮崎	出荷+販売段階	8.3	7.4	4.1	8.3	8.1	9.2						
	5年産米	5.0	5.2	3.1	7.6	7.6	8.8						
	1年古米(4年産)	3.2	2.1	1.0	0.7	0.5	0.3						
	出荷段階	5.2	2.7	0.5	4.8	5.1	6.7						
	5年産米	3.3	1.8	0.4	4.7	5.0	6.6						
	1年古米(4年産)	1.9	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1						
	販売段階	3.1	4.6	3.6	3.5	3.0	2.5						
	5年産米	1.7	3.4	2.6	2.9	2.6	2.2						
	1年古米(4年産)	1.3	1.2	0.9	0.6	0.4	0.3						
鹿児島	出荷+販売段階	12.6	12.0	9.4	16.2	19.3	17.5						
	5年産米	0.8	2.7	2.6	11.2	15.2	14.0						
	1年古米(4年産)	7.6	5.7	3.8	2.5	1.9	1.7						
	出荷段階	7.3	6.9	3.0	9.8	13.0	12.4						
	5年産米	0.1	1.3	0.9	8.0	11.4	10.9						
	1年古米(4年産)	5.9	4.5	1.1	1.0	0.8	0.7						
	販売段階	5.2	5.1	6.4	6.4	6.3	5.0						
	5年産米	0.7	1.4	1.7	3.2	3.9	3.0						
	1年古米(4年産)	1.7	1.3	2.7	1.6	1.1	1.0						
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2						
	5年産米	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2						
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1						
	5年産米	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1						
	1年古米(4年産)	0.0											
	販売段階	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0						
	5年産米	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0						
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

2 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

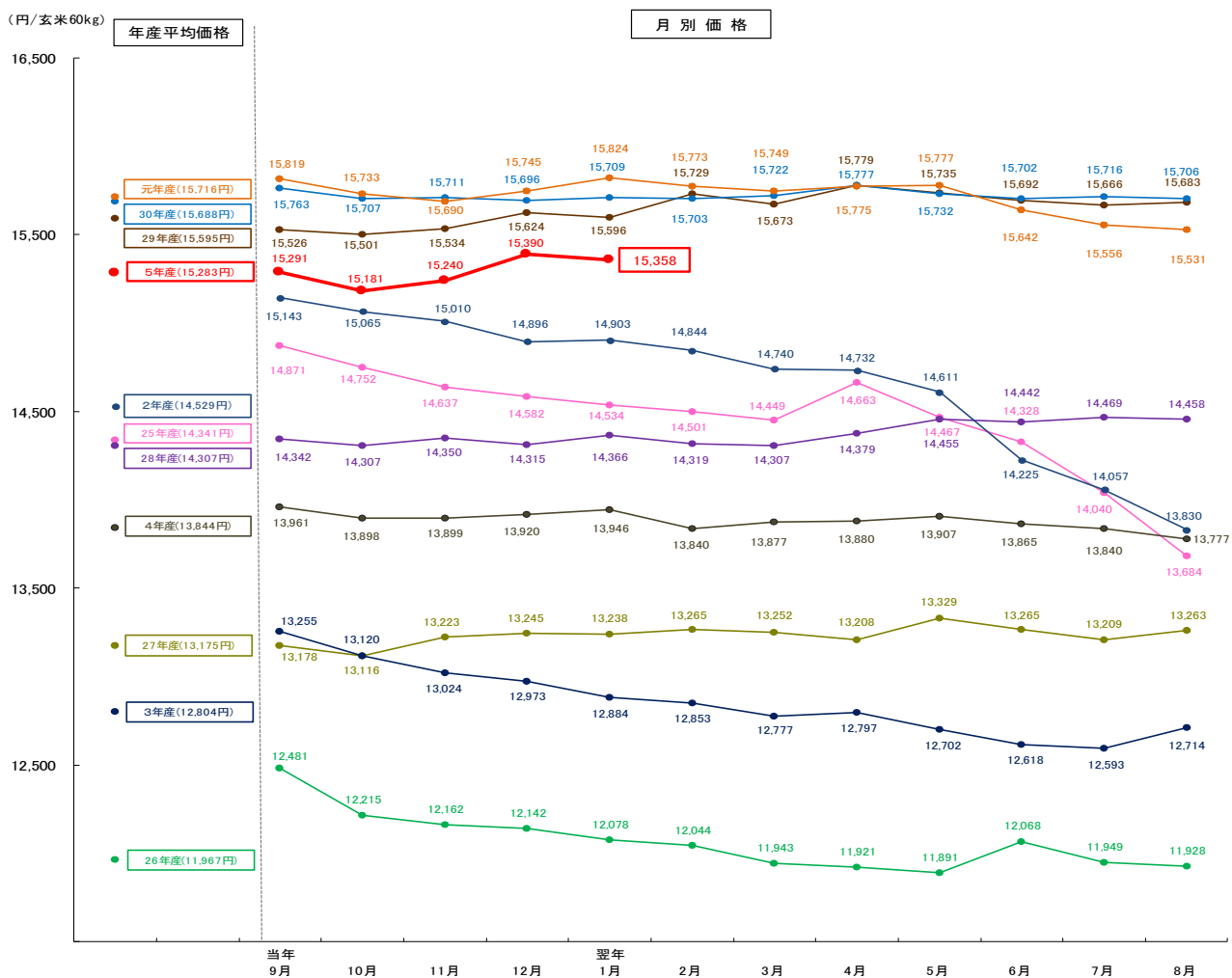
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

- 令和5年産米の令和年1月の相対取引価格は、全銘柄平均で前月差▲32円の15,358円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産+1,439円の15,283円/60kgとなったところ。

産地銘柄ごとの価格は、「価格-2」以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 3 グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（5年産は出回りから令和6年1月までの速報値）の通年平均価格、右側は月別の価格である。

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年1月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

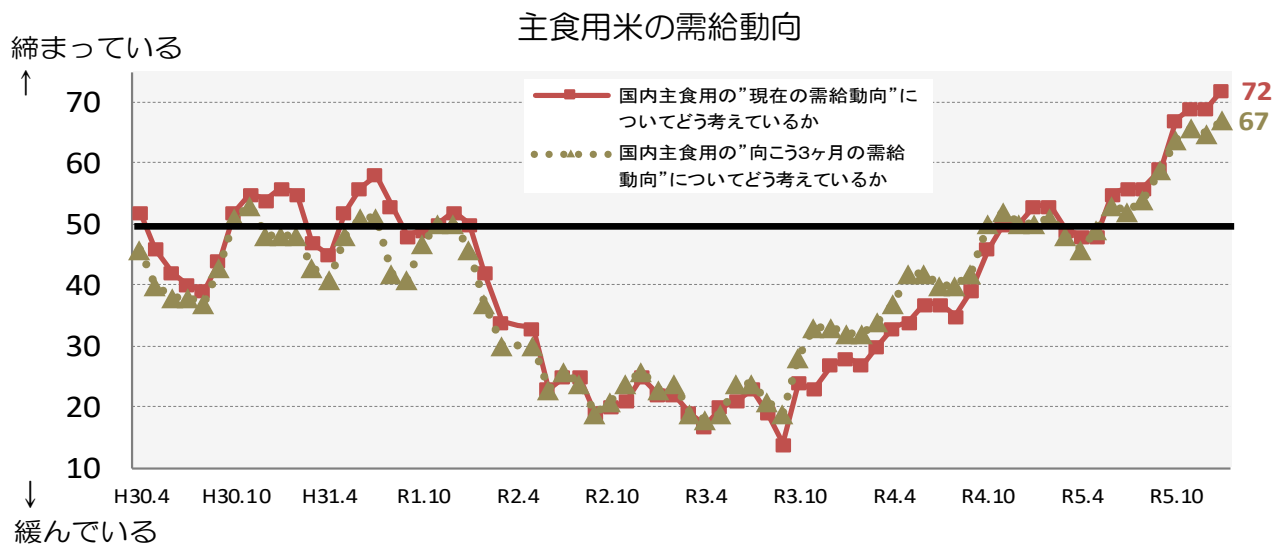
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和6年1月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて+3ポイントの「やや増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+2ポイントの「やや増加」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて+2ポイントの「やや増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+2ポイントの「やや増加」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断 D I 前回からの増減 +3（今月の数値 72）

(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +2（今月の数値 67）

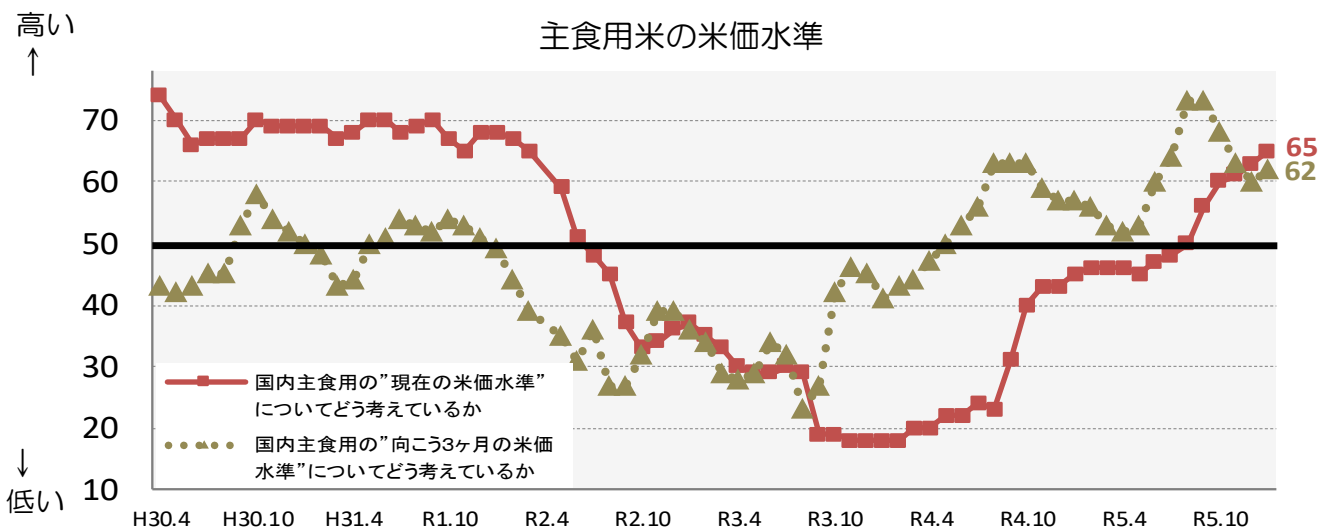


※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断 D I 前回からの増減 +2（今月の数値 65）

(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +2（今月の数値 62）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断D I

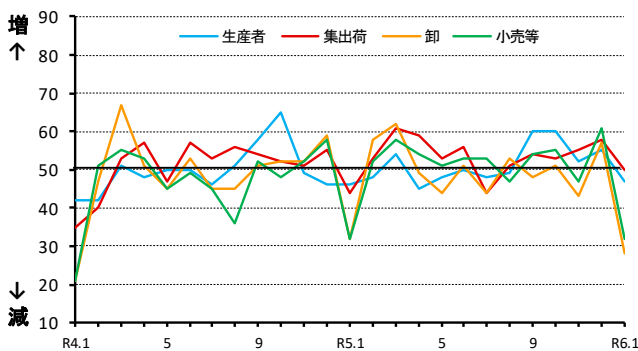
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲8 (今月の数値 47)
 集出荷：前回からの増減 ▲8 (今月の数値 50)
 卸：前回からの増減 ▲29 (今月の数値 28)
 小売等：前回からの増減 ▲29 (今月の数値 32)

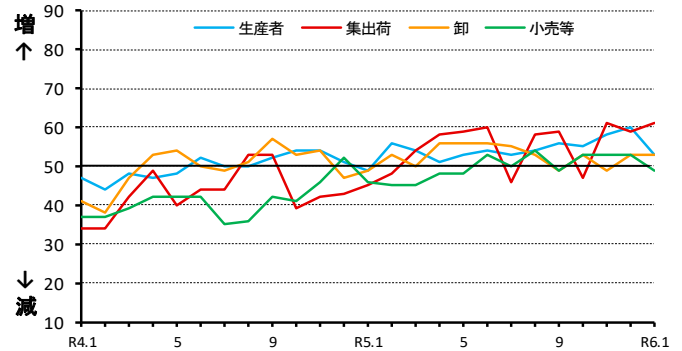
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲7 (今月の数値 53)
 集出荷：前回からの増減 +2 (今月の数値 61)
 卸：前回からの増減 ±0 (今月の数値 53)
 小売等：前回からの増減 ▲4 (今月の数値 49)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、
"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しD I

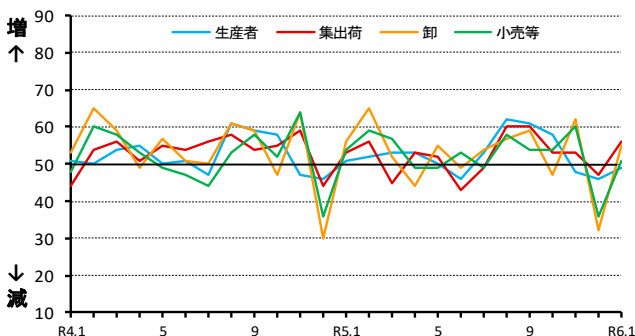
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 +3 (今月の数値 49)
 集出荷：前回からの増減 +9 (今月の数値 56)
 卸：前回からの増減 +23 (今月の数値 55)
 小売等：前回からの増減 +15 (今月の数値 51)

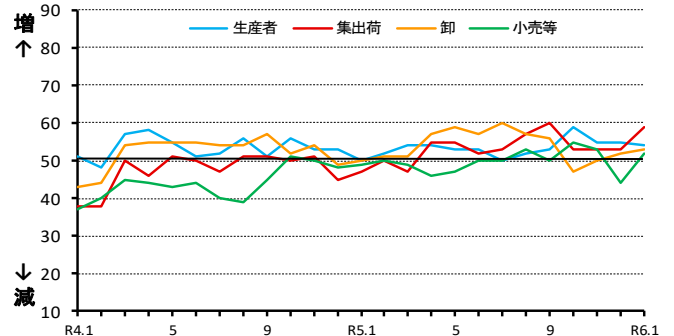
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲1 (今月の数値 54)
 集出荷：前回からの増減 +6 (今月の数値 59)
 卸：前回からの増減 +1 (今月の数値 53)
 小売等：前回からの増減 +8 (今月の数値 52)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断DI

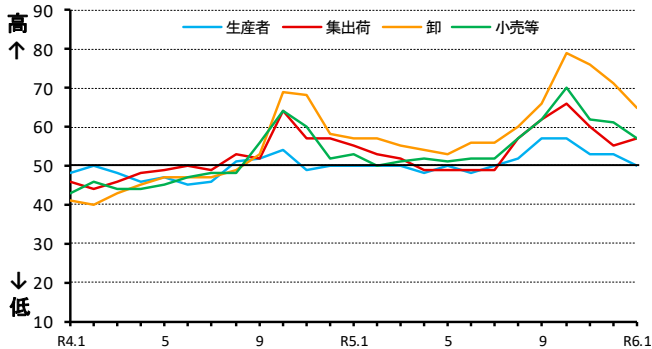
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲3	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	57)
卸：前回からの増減	▲6	(今月の数値	65)
小売等：前回からの増減	▲4	(今月の数値	57)

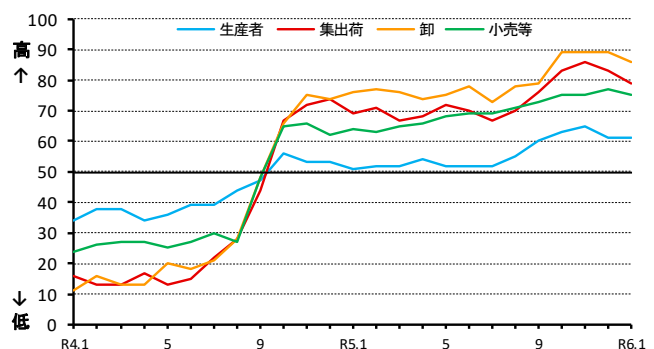
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	61)
集出荷：前回からの増減	▲4	(今月の数値	79)
卸：前回からの増減	▲3	(今月の数値	86)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	75)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しDI

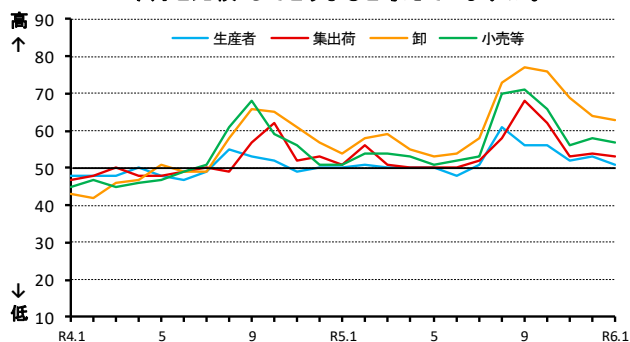
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲2	(今月の数値	51)
集出荷：前回からの増減	▲1	(今月の数値	53)
卸：前回からの増減	▲1	(今月の数値	63)
小売等：前回からの増減	▲1	(今月の数値	57)

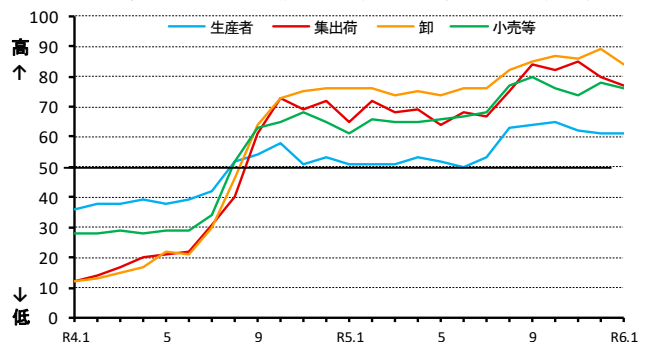
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	61)
集出荷：前回からの増減	▲3	(今月の数値	77)
卸：前回からの増減	▲5	(今月の数値	84)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	76)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断D I

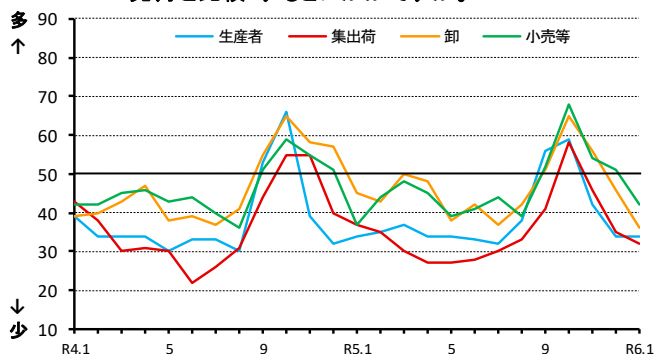
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ± 0 (今月の数値 34)
 集出荷：前回からの増減 ▲ 3 (今月の数値 32)
 卸：前回からの増減 ▲ 10 (今月の数値 36)
 小売等：前回からの増減 ▲ 9 (今月の数値 42)

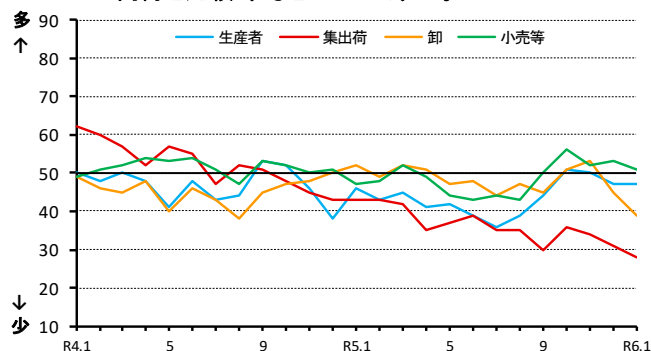
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ± 0 (今月の数値 47)
 集出荷：前回からの増減 ▲ 3 (今月の数値 28)
 卸：前回からの増減 ▲ 6 (今月の数値 39)
 小売等：前回からの増減 ▲ 2 (今月の数値 51)

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、 "先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しD I

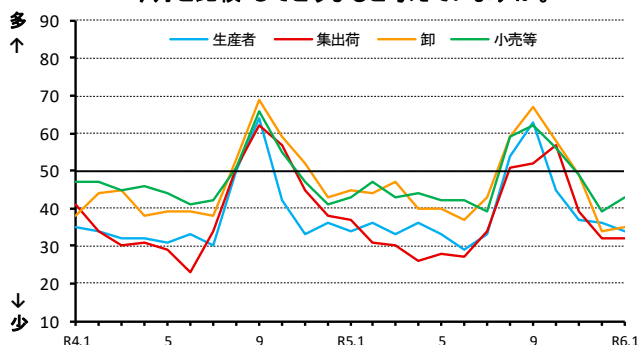
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲ 2 (今月の数値 34)
 集出荷：前回からの増減 ± 0 (今月の数値 32)
 卸：前回からの増減 + 1 (今月の数値 35)
 小売等：前回からの増減 + 4 (今月の数値 43)

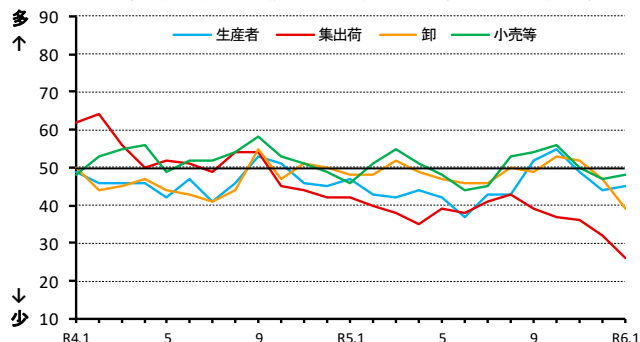
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 + 1 (今月の数値 45)
 集出荷：前回からの増減 ▲ 6 (今月の数値 26)
 卸：前回からの増減 ▲ 8 (今月の数値 39)
 小売等：前回からの増減 + 1 (今月の数値 48)

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、 "今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、 "前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R4.1	1%	31%	4%	38%	17%	8%	2%
R4.2	1%	33%	3%	34%	24%	3%	2%
R4.3	1%	35%	3%	35%	21%	5%	1%
R4.4	1%	33%	2%	37%	17%	7%	2%
R4.5	2%	29%	4%	39%	15%	9%	1%
R4.6	1%	34%	9%	36%	12%	6%	2%
R4.7	3%	32%	9%	36%	11%	6%	4%
R4.8	7%	24%	8%	39%	10%	6%	7%
R4.9	8%	23%	8%	42%	10%	6%	3%
R4.10	17%	19%	6%	39%	10%	6%	3%
R4.11	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%
R4.12	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R5.1	5%	28%	4%	42%	14%	6%	1%
R5.2	2%	25%	5%	45%	16%	5%	1%
R5.3	1%	29%	3%	41%	16%	8%	1%
R5.4	1%	27%	4%	44%	14%	9%	1%
R5.5	2%	28%	3%	37%	22%	6%	2%
R5.6	1%	30%	3%	45%	12%	8%	1%
R5.7	3%	30%	1%	48%	14%	3%	1%
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%
R5.10	24%	21%	1%	42%	8%	3%	1%
R5.11	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、
本年1月にアンケート対象事業者の拡充及び一部入替を行いました。

○有効回答数：154客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・26
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・30
- 小売業者／中食・外食業者・・・・54
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

3 米の契約・販売情報

1 令和6年産備蓄米の政府買入

(1) 令和6年産備蓄米の政府買入予定数量

備蓄米の政府買入予定数量	205,509トン
うちCPTPP分※	5,509トン

※ CPTPP分については、CPTPP協定に基づく豪州に対する国別枠の輸入量（前年1月から12月までに豪州から実際に輸入した数量）に相当する量を設定。

(単位：トン)

都道府県別優先枠（第2回）	174,270
北海道	4,686
青森	26,767
岩手	3,415
宮城	11,176
秋田	21,022
山形	19,487
福島	25,726
茨城	986
栃木	6,084
埼玉	204
千葉	662
新潟	23,386
富山	11,455
石川	7,502
福井	4,597
長野	1,449
岐阜	423
静岡	19
愛知	835
三重	262
滋賀	1,216
鳥取	389
島根	126
岡山	822
徳島	933
高知	10
福岡	52
佐賀	214
熊本	274
大分	91
一般枠(指定なし)	24,602

(2) 令和6年産備蓄米の政府買入れの当面のスケジュール（予定）

入札日	契約締結時期	引渡開始時期
1月23日(第1回)	令和6年4月末まで	令和6年9月2日
2月13日(第2回)		

令和6年産国内産米穀の政府買入れは、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

(3) 令和6年産備蓄米の政府買入入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果	
		第1回 (R6.1.23)	落札合計数量
北海道	4,686	0	0
青森	28,586	1,819	1,819
岩手	3,415	0	0
宮城	11,276	100	100
秋田	21,322	300	300
山形	20,195	708	708
福島	26,313	587	587
茨城	1,086	100	100
栃木	6,184	100	100
群馬			
埼玉	204	0	0
千葉	662	0	0
東京都			
神奈川県			
新潟	24,499	1,113	1,113
富山	11,880	425	425
石川	7,841	339	339
福井	4,597	0	0
山梨			
長野	1,449	0	0
岐阜	423	0	0
静岡県	19	0	0
愛知県	835	0	0
三重	262	0	0
滋賀	1,327	111	111
京都			
大阪			
兵庫県			
奈良			
和歌山			
鳥取	389	0	0
島根	126	0	0
岡山	822	0	0
広島	28	28	28
山口			
徳島	933	0	0
香川			
愛媛			
高知県	10	0	0
福岡	52	0	0
佐賀	214	0	0
長崎			
熊本	274	0	0
大分	91	0	0
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
都道府県別枠計	180,000	5,730	5,730
指定なし	25,509	907	907
合計	205,509	6,637	6,637
	うちCPTPP分		5,509

2 令和5年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和5年12月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (4年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	104	240.3	212.9	73.1	84%	102%	88%
ななつぼし		119.2	112.8	36.1	89%	102%	84%
ゆめびりか		72.0	55.8	20.0	79%	109%	102%
きらら397		18.1	15.3	1.9	87%	97%	77%
青森	102	107.9	76.9	18.0	107%	105%	120%
まっくら		80.7	56.6	9.5	106%	105%	127%
つがるロマン		7.7	5.0	1.7	62%	56%	62%
岩手	104	110.0	90.4	14.4	97%	111%	108%
ひとめぼれ		81.9	71.1	9.1	96%	115%	99%
あきたこまち		8.7	5.6	1.0	75%	75%	79%
銀河のしずく		14.4	11.2	3.1	161%	154%	184%
宮城	105	136.5	152.3	18.5	108%	123%	110%
ひとめぼれ		101.0	120.1	12.5	108%	126%	120%
つや姫		14.1	11.9	2.2	112%	99%	80%
ササニシキ		9.2	9.4	1.8	106%	109%	129%
秋田	97	215.5	209.6	48.4	95%	104%	103%
あきたこまち		177.3	178.9	41.2	93%	106%	102%
ひとめぼれ		16.9	17.0	2.6	96%	102%	139%
めんこいな		6.1	5.2	0.9	97%	89%	116%
山形	100	166.5	108.6	31.4	97%	100%	110%
はえぬき		85.4	54.5	12.2	93%	103%	121%
つや姫		38.8	28.6	10.4	102%	104%	103%
雪若丸		21.1	11.8	3.3	105%	89%	105%
福島	102	118.7	76.3	14.8	106%	87%	114%
コシヒカリ(中通り)		36.8	20.7	4.2	104%	75%	105%
コシヒカリ(会津)		28.3	23.4	1.9	98%	85%	98%
コシヒカリ(浜通り)		4.9	3.8	0.5	109%	100%	141%
ひとめぼれ		21.6	13.3	2.5	104%	94%	80%
天のつぶ		16.4	10.1	3.3	151%	109%	274%
茨城	101	60.7	49.9	13.9	95%	85%	94%
コシヒカリ		42.3	36.6	8.6	90%	90%	93%
あきたこまち		7.0	7.0	3.3	95%	90%	80%
ふくまる		2.9	2.3	0.3	118%	95%	113%
栃木	104	106.0	77.8	8.6	103%	112%	128%
コシヒカリ		84.4	63.5	6.6	102%	114%	132%
とちぎの星		12.3	8.1	0.8	128%	110%	139%
あさひの夢		3.5	3.6	0.2	95%	131%	117%
群馬	102	11.6	6.2	0.7	73%	103%	370%
あさひの夢		7.8	5.1	0.4	71%	99%	629%
ゆめまつり		1.2	0.8	0.1	53%	107%	167%
埼玉	99	14.9	8.4	2.5	81%	72%	92%
彩のかがやき		3.8	3.5	0.9	58%	75%	114%
彩のきずな		6.0	2.9	0.9	104%	64%	73%
コシヒカリ		3.1	1.9	0.6	80%	81%	102%
千葉	103	44.8	46.9	24.4	99%	126%	101%
コシヒカリ		22.5	25.7	11.4	96%	135%	106%
ふさこがね		8.9	8.8	5.5	122%	152%	141%
ふさおとめ		8.6	7.3	5.1	93%	91%	76%
東京	102	-	-	-
神奈川	102	3.4	1.3	1.3	127%	214%	214%
山梨	100	5.4	1.1	1.1	100%	116%	116%
コシヒカリ		4.8	0.8	0.8	102%	103%	103%
長野	100	62.7	44.6	10.2	98%	98%	114%
コシヒカリ		50.3	36.2	6.7	99%	98%	105%
あきたこまち		6.0	4.1	1.1	90%	88%	116%
静岡	100	10.5	5.4	1.7	119%	309%	125%
コシヒカリ		6.0	3.5	1.2	131%	258%	113%
きぬむすめ		1.9	0.9	0.2	112%	1054%	407%
にこまる		1.0	0.3	0.0

注:本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (4年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	95	257.9	220.2	64.7	99%	101%	109%
		132.8	117.1	27.7	98%	102%	110%
		26.5	21.1	8.7	91%	100%	102%
		12.3	12.8	3.2	85%	99%	97%
		9.9	9.9	2.8	97%	100%	113%
		33.6	27.1	9.4	95%	93%	118%
富山	98	75.7	59.9	15.4	91%	97%	93%
		53.1	47.1	11.4	89%	103%	90%
		6.7	6.0	1.4	89%	102%	83%
石川	100	31.5	8.8	5.0	98%	41%	109%
		14.8	3.6	1.9	89%	27%	84%
		4.6	1.5	0.8	101%	52%	128%
福井	98	46.0	30.9	14.9	89%	84%	97%
		18.1	11.1	4.8	87%	81%	93%
		12.6	10.2	5.5	87%	98%	87%
		4.8	3.4	0.6	93%	148%	70%
岐阜	100	16.4	15.0	4.3	90%	87%	117%
		6.3	6.7	1.1	72%	80%	95%
		4.7	3.4	1.1	93%	92%	91%
		1.2	2.3	0.2	128%	102%	505%
愛知	96	32.5	38.1	8.7	93%	108%	106%
		16.6	18.3	3.4	93%	101%	112%
		9.6	9.6	3.2	91%	91%	105%
		1.0	1.1	0.2	74%	86%	110%
三重	101	21.5	23.3	6.6	84%	98%	86%
		10.0	13.6	3.0	79%	99%	67%
		5.7	5.0	1.4	91%	94%	80%
		1.1	1.5	0.4	69%	114%	187%
滋賀	97	47.4	41.1	15.3	99%	90%	119%
		17.3	15.5	5.9	114%	88%	132%
		7.6	6.9	2.5	85%	93%	122%
		10.1	8.2	4.0	96%	89%	98%
京都	99	7.3	6.7	2.5	88%	69%	113%
		4.4	3.9	1.4	91%	68%	104%
		0.5	0.9	0.2	65%	77%	100%
		1.3	0.9	0.5	86%	57%	174%
大阪	102	-	-	-
兵庫	100	33.3	16.6	6.6	73%	56%	56%
		15.5	9.2	4.0	96%	95%	90%
		6.8	2.6	0.9	123%	95%	143%
		5.8	1.9	1.0	110%	90%	101%
奈良	101	9.9	1.8	1.8	92%	143%	143%
		8.4	1.3	1.3	92%	131%	131%
和歌山	103	1.6	1.6	0.2	91%	91%	13%
鳥取	95	19.4	19.7	7.0	95%	113%	185%
		6.1	5.7	1.1	93%	117%	237%
		5.6	5.3	1.4	94%	100%	115%
		2.9	2.9	1.0	93%	82%	89%
島根	101	30.1	27.7	8.2	95%	111%	138%
		13.1	10.8	2.7	99%	112%	156%
		10.4	10.7	3.8	89%	107%	127%
		4.9	5.0	1.0	97%	135%	146%
岡山	99	34.7	21.1	6.4	88%	170%	105%
		5.9	5.0	0.5	100%	342%	119%
		6.6	2.9	0.8	87%	165%	136%
		5.2	2.6	1.8	71%	102%	86%
広島	103	32.9	29.4	12.7	99%	94%	211%
		13.0	11.5	4.6	99%	78%	178%
		6.5	7.0	2.1	91%	81%	243%
		3.1	3.3	1.5	101%	147%	332%

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (4年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
山口	103	33.4	32.1	7.9	84%	127%	81%
コシヒカリ		8.8	9.1	2.8	85%	119%	96%
ひとめぼれ		8.5	7.5	2.2	87%	137%	97%
きぬむすめ		6.8	7.0	1.0	…	…	…
徳島	99	4.8	5.2	2.3	84%	149%	130%
コシヒカリ		2.0	2.0	1.1	87%	136%	111%
あきさかり		2.3	2.6	0.8	81%	163%	162%
香川	101	18.5	28.0	3.8	95%	196%	125%
コシヒカリ		5.3	10.0	1.6	91%	169%	116%
ヒノヒカリ		5.5	9.0	0.9	99%	200%	135%
あきさかり		3.7	9.0	0.8	…	…	…
愛媛	103	11.0	8.3	2.7	89%	103%	99%
コシヒカリ		3.8	3.5	1.1	91%	104%	92%
ヒノヒカリ		1.7	1.1	0.3	78%	97%	118%
あきたこまち		0.9	0.9	0.3	63%	105%	89%
高知	100	9.1	7.9	7.9	96%	158%	158%
コシヒカリ		6.2	6.2	6.2	96%	163%	163%
ヒノヒカリ		1.3	0.7	0.7	98%	149%	149%
福岡	100	46.2	37.1	10.8	99%	106%	130%
夢つくし		15.6	12.1	4.4	95%	108%	142%
ヒノヒカリ		11.6	10.8	1.7	109%	110%	100%
元気つくし		14.1	10.4	3.4	93%	100%	137%
佐賀	103	29.3	11.0	6.0	105%	38%	110%
さがびより		11.2	2.9	1.4	118%	24%	114%
夢しずく		10.0	4.7	2.4	99%	45%	125%
ヒノヒカリ		4.8	1.5	0.8	94%	30%	110%
長崎	102	8.6	7.7	2.4	116%	104%	157%
にこまる		3.4	3.2	0.6	124%	99%	124%
なつほのか		2.1	2.0	0.6	118%	104%	289%
ヒノヒカリ		1.5	1.1	0.2	125%	94%	102%
熊本	104	28.1	6.6	6.6	112%	126%	126%
ヒノヒカリ		10.9	1.9	1.9	108%	160%	160%
森のくまさん		3.9	0.5	0.5	166%	64%	64%
コシヒカリ		5.0	2.6	2.6	96%	122%	122%
大分	101	13.5	10.3	2.8	107%	131%	151%
ヒノヒカリ		5.9	4.0	0.9	86%	109%	126%
ひとめぼれ		1.9	2.0	0.5	243%	374%	435%
つや姫		1.9	1.7	0.6	91%	86%	111%
宮崎	99	9.4	6.9	6.9	76%	80%	83%
コシヒカリ		4.6	4.6	4.6	83%	83%	83%
ヒノヒカリ		3.8	1.4	1.4	75%	112%	112%
鹿児島	101	7.8	7.8	6.7	93%	93%	95%
ヒノヒカリ		1.9	1.9	1.1	83%	83%	86%
あきほなみ		0.7	0.7	0.6	125%	125%	141%
コシヒカリ		3.0	3.0	3.0	107%	107%	107%
沖縄	103	1.2	1.2	1.0	94%	94%	93%
全国①	101	2,380	1,943	573	95%	102%	103%
参考	前年同月(4年産)②	2,495	1,914	556			
	前年同月差(①-②)	▲ 115	+ 29	+ 17			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考:前年同月比」で、令和5年産又は令和4年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

3 事前契約（播種前契約）の取組状況

(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移（令和3年産～令和5年産）

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

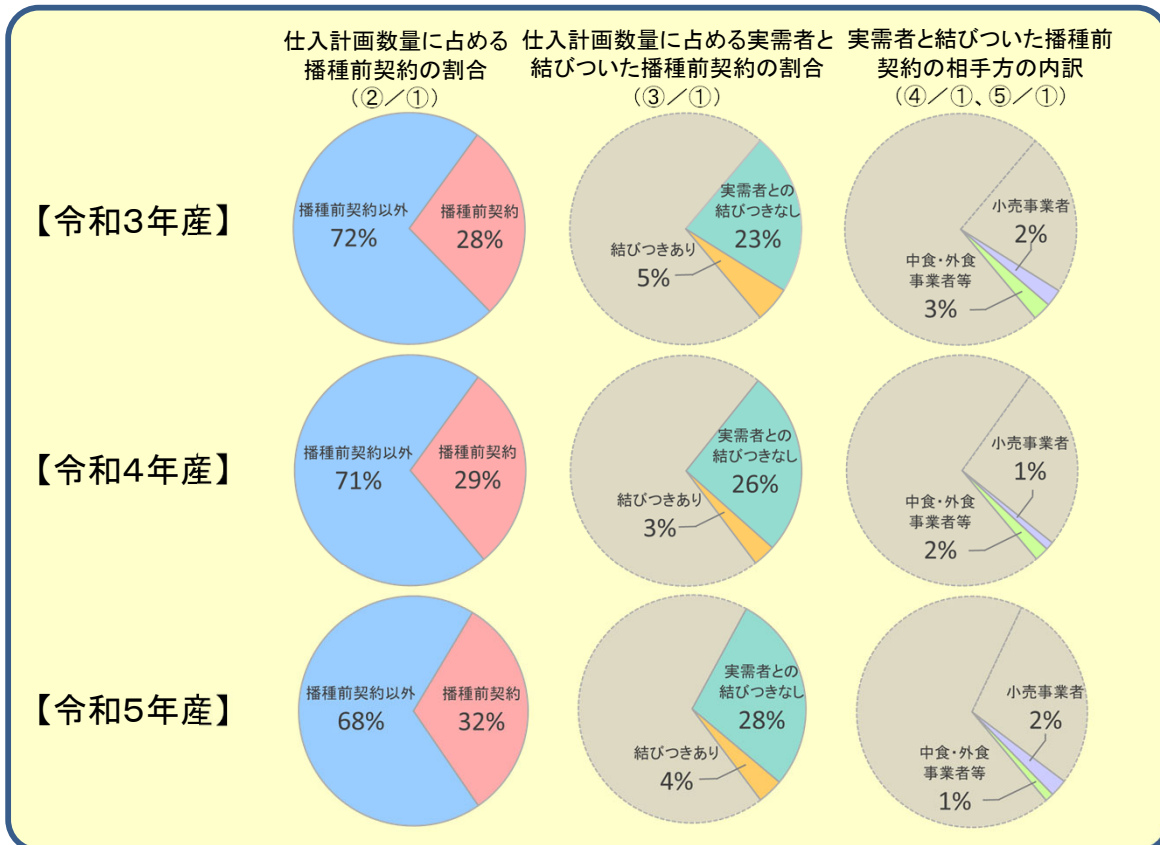
【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 5年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は32%。5年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は4%。

○ 近年の播種前契約の状況

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計	中食・外食等	小売
			③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)



- 注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。
 注2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。
 注3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。
 注4：中食・外食等には、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。
 注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和4・5年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

(単位：千玄米トン)

	4年産				5年産			
	仕入(集荷) 計画数量 ①	うち事前(播種前)契約		うち 複数年契約	仕入(集荷) 計画数量 ④	うち事前(播種前)契約		うち複数年契約
		契約数量 ②	契約比率 ②/①	契約数量 ③		契約数量 (前年差) ⑤	契約比率 (前年差) ⑤/④	契約数量 (前年差) ⑥
北海道	345	160	46%	157	369	164 (+4)	44% (▲2%)	162 (+5)
青森	154	14	9%	5	171	36 (+21)	21% (+12%)	29 (+24)
岩手	137	52	38%	50	157	65 (+13)	41% (+4%)	65 (+15)
宮城	192	106	55%	106	184	143 (+37)	78% (+23%)	93 (▲12)
秋田	276	134	48%	113	299	142 (+8)	47% (▲1%)	109 (▲4)
山形	239	46	19%	39	242	60 (+15)	25% (+6%)	45 (+6)
福島	171	43	25%	41	172	31 (▲12)	18% (▲7%)	31 (▲10)
茨城	151	5	3%	1	131	33 (+28)	25% (+22%)	3 (+2)
栃木	129	64	49%	61	136	72 (+8)	53% (+3%)	59 (▲2)
群馬	25	5	20%	1	27	7 (+2)	24% (+4%)	-
埼玉	42	8	18%	1	53	8 (+0)	15% (▲3%)	1 (+0)
千葉	108	10	9%	9	111	15 (+5)	13% (+4%)	8 (▲2)
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3	-	-	-	3	-	-	-
山梨	6	-	-	-	5	-	-	-
長野	87	38	44%	34	87	38 (▲1)	43% (▲1%)	37 (+3)
静岡	12	-	-	-	13	-	-	-
新潟	366	113	31%	84	369	109 (▲4)	30% (▲1%)	73 (▲11)
富山	97	1	1%	1	100	-	-	-
石川	58	8	13%	-	65	11 (+4)	17% (+4%)	-
福井	55	8	14%	8	51	7 (▲1)	13% (▲1%)	5 (▲3)
岐阜	33	7	21%	5	18	11 (+4)	63% (+42%)	5 (▲1)
愛知	44	3	7%	2	43	2 (▲1)	4% (▲3%)	1 (▲1)
三重	46	32	69%	-	45	30 (▲2)	67% (▲2%)	-
滋賀	66	38	58%	8	46	28 (▲10)	61% (+4%)	5 (▲4)
京都	15	6	42%	1	18	5 (▲1)	28% (▲14%)	1 (+0)
大阪	3	-	-	-	3	-	-	-
兵庫	60	18	30%	-	60	17 (▲1)	29% (▲1%)	-
奈良	11	-	-	-	10	-	-	-
和歌山	2	0	1%	-	2	-	-	-
鳥取	25	16	66%	-	26	2 (▲14)	8% (▲58%)	-
島根	35	-	-	-	33	-	-	-
岡山	55	6	10%	-	39	-	-	-
広島	35	0	1%	-	36	22 (+22)	61% (+60%)	-
山口	38	0	1%	0	41	19 (+19)	47% (+46%)	0 (▲0)
徳島	16	2	14%	-	16	4 (+1)	23% (+9%)	-
香川	20	19	99%	7	20	-	-	-
愛媛	16	-	-	-	16	7	44%	-
高知	10	-	-	-	12	-	-	-
福岡	59	1	2%	-	63	1 (▲0)	2% (▲1%)	-
佐賀	37	28	77%	-	35	14 (▲15)	39% (▲38%)	12
長崎	11	7	64%	-	10	7 (+0)	76% (+12%)	-
熊本	58	-	-	-	57	-	-	-
大分	18	2	10%	0	20	4 (+3)	23% (+13%)	1 (+1)
宮崎	26	-	-	-	26	-	-	-
鹿児島	21	-	-	-	21	-	-	-
沖縄	1	-	-	-	1	-	-	-
全国	3,451	1,001	29%	736	3,504	1,115 (+114)	32% (+3%)	745 (+8)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。

2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。

4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。

5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

4 消費の動向

1 米の消費動向（米穀機構による調査）

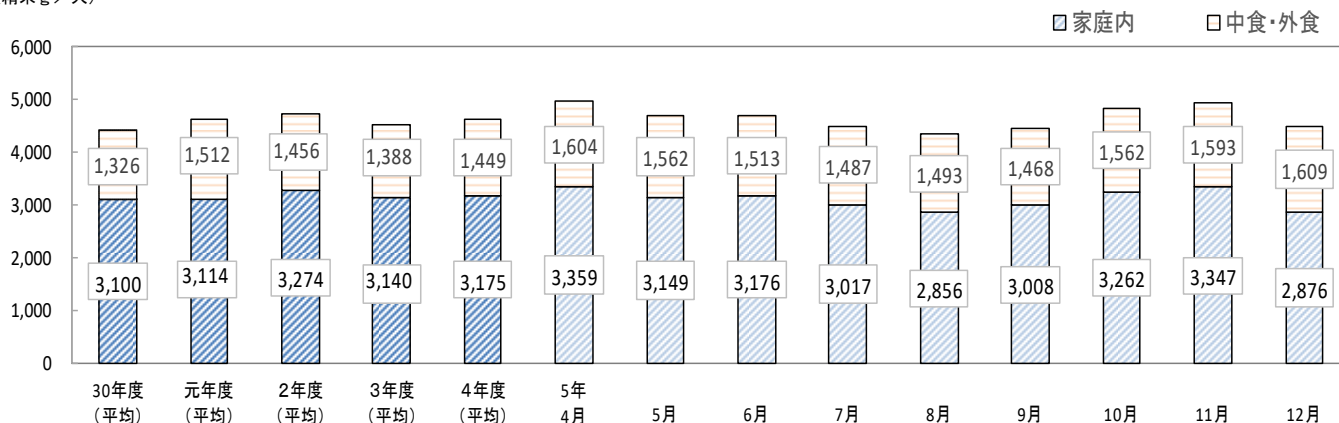
調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
 【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和5年12月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比▲1.8%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比▲5.7%、中食・外食では+5.9%。

（1）1人1ヵ月当たり精米消費量

(精米g/人)



(精米g/人、%)

	精米消費量 (g)					内訳比率 (%)					前年同月比 (%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食		中食	外食		
平成30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
4年度	4,625	3,175	1,449	918	531	100.0	68.6	31.3	19.8	11.5	2.1	1.1	4.4	1.3	10.2
令和5年 4月	4,962	3,359	1,604	1,013	591	100.0	67.7	32.3	20.4	11.9	1.7	▲0.3	6.4	5.3	8.4
5月	4,710	3,149	1,562	987	575	100.0	66.9	33.2	21.0	12.2	0.9	▲1.8	7.1	6.0	8.9
6月	4,689	3,176	1,513	927	586	100.0	67.7	32.3	19.8	12.5	2.1	0.6	5.3	1.8	11.4
7月	4,504	3,017	1,487	952	535	100.0	67.0	33.0	21.1	11.9	2.2	▲0.5	8.1	6.7	10.5
8月	4,349	2,856	1,493	924	569	100.0	65.7	34.3	21.2	13.1	▲2.0	▲6.5	7.7	5.7	11.1
9月	4,476	3,008	1,468	895	573	100.0	67.2	32.8	20.0	12.8	2.9	▲0.1	9.5	8.1	11.7
10月	4,823	3,262	1,562	999	562	100.0	67.6	32.4	20.7	11.7	▲2.4	▲3.6	0.4	▲1.1	2.7
11月	4,940	3,347	1,593	1,024	570	100.0	67.8	32.2	20.7	11.5	2.2	0.5	6.0	7.9	2.9
12月	4,486	2,876	1,609	1,004	605	100.0	64.1	35.9	22.4	13.5	▲1.8	▲5.7	5.9	6.1	5.8

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和5年12月分の有効調査世帯数は1,637世帯。

注2：平成30～令和4年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成30～令和3年度はH27国勢調査、令和4・5年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで、「インターネットショップ」、「米穀専門店」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和5年12月の家庭内の月末在庫数量は、6.1kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	-
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	-
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年度	1.2	50.1	5.5	4.8	0.4	6.0	1.0	2.3	1.4	4.6	8.9	15.3	4.4	-
令和5年4月	1.6	50.2	7.1	4.3	0.5	5.8	1.0	2.0	2.3	6.0	7.8	14.4	4.4	1,192
5月	1.9	48.4	7.7	4.3	1.0	5.9	1.5	2.6	1.6	4.8	9.7	14.5	4.8	1,194
6月	1.9	49.9	7.1	4.8	0.5	6.0	0.8	2.5	2.0	4.6	9.1	12.2	5.4	1,145
7月	1.2	50.7	6.0	5.7	0.1	6.3	1.0	2.8	1.3	4.4	8.0	14.5	3.7	1,066
8月	1.3	52.2	6.2	4.6	0.3	5.4	0.7	2.5	1.7	4.5	8.5	14.4	3.0	975
9月	0.9	51.1	6.3	4.6	0.3	5.8	0.6	2.1	2.7	5.1	8.6	15.3	3.5	1,029
10月	1.1	50.0	6.3	3.9	0.2	4.9	0.9	2.1	2.4	5.4	7.0	16.8	6.9	1,079
11月	0.9	46.6	8.1	4.3	0.1	4.3	1.6	1.9	2.6	4.9	9.3	18.9	5.0	1,049
12月	1.3	48.9	6.8	4.0	0.0	5.0	1.3	2.2	0.9	4.1	8.9	17.4	4.9	1,006

注：平成30～令和4年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年度	505	371	328	313	※466	395	393	468	424	347	437	-
令和5年4月	436	388	340	322	※479	461	377	475	407	301	468	2,139
5月	492	396	324	326	690	399	401	502	384	353	504	1,976
6月	410	388	352	309	※655	413	※375	527	391	338	523	1,851
7月	459	393	330	297	※352	381	334	465	420	333	537	1,748
8月	512	402	327	308	※365	376	※512	509	356	336	482	1,675
9月	※493	415	358	352	※183	415	※343	515	494	308	470	1,603
10月	573	391	370	302	※360	506	※481	593	476	353	485	1,856
11月	※416	383	394	327	※487	404	406	471	532	286	512	1,736
12月	531	408	366	322	-	442	437	492	※366	361	529	1,637

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
4 令和2～4年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	-
5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1				6.0	▲9.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.21	2.21	2.21				2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成30～令和3年度はH27国勢調査、令和4・5年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

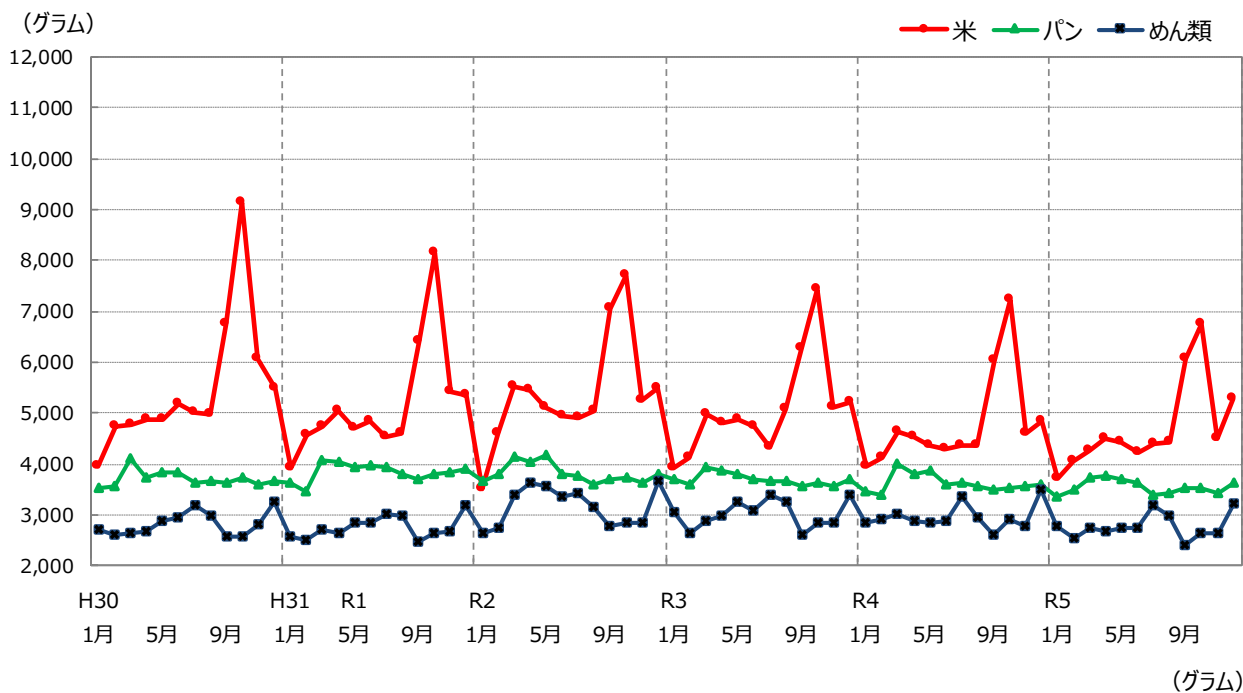
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和5年12月の米の購入数量は、対前年同月比+9.1%の5.3kg、パンは+1.6%の3.6kg、めん類は▲7.7%の3.2kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移

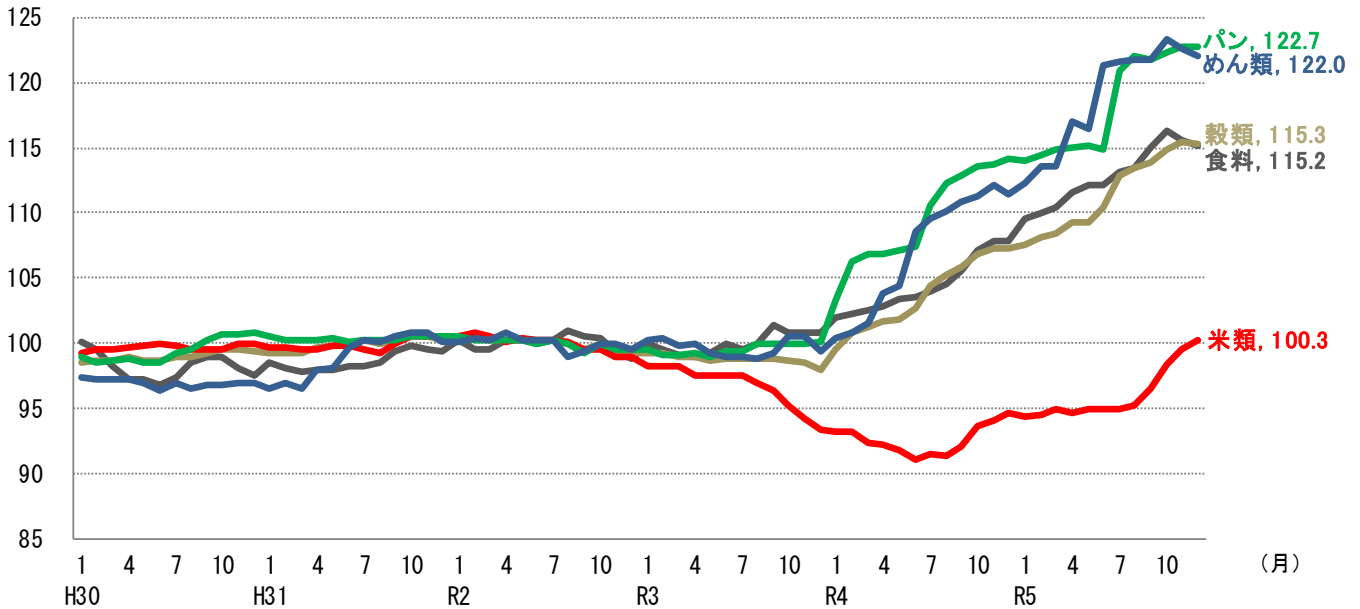


	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
令和5年 1月	3,720	94.2%	3,370	96.9%	2,795	98.0%
2月	4,060	98.1%	3,504	102.8%	2,554	87.3%
3月	4,250	91.4%	3,745	93.5%	2,733	90.7%
4月	4,510	99.3%	3,760	99.1%	2,674	93.1%
5月	4,450	101.6%	3,695	95.2%	2,740	95.8%
6月	4,230	98.8%	3,622	100.2%	2,751	95.2%
7月	4,390	100.9%	3,381	93.0%	3,175	94.1%
8月	4,440	102.1%	3,416	95.7%	2,997	101.0%
9月	6,060	100.5%	3,521	101.1%	2,389	91.5%
10月	6,750	93.2%	3,546	100.3%	2,645	91.1%
11月	4,490	97.8%	3,444	96.3%	2,653	94.9%
12月	5,290	109.1%	3,648	101.6%	3,227	92.3%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和5年12月の米類の指数は対前年同月比 +5.9%の100.3ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成30年（平均）	98.2	1.4%	99.0	1.6%	99.7	4.7%	99.2	3.3%	99.5	0.7%	96.9	▲0.5%
令和元年（平均）	98.7	0.5%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.8%	99.1	2.3%
2年（平均）	100.0	1.3%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	0.9%
3年（平均）	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年（平均）	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.2%	107.1	7.4%
令和5年 1月	109.5	7.4%	107.5	8.0%	94.4	1.2%	95.0	1.3%	114.0	10.5%	112.3	11.9%
2月	110.0	7.5%	108.1	7.1%	94.5	1.3%	95.1	1.7%	114.5	7.8%	113.6	12.6%
3月	110.4	7.7%	108.4	7.1%	94.9	2.7%	95.3	1.5%	114.8	7.5%	113.6	11.8%
4月	111.6	8.5%	109.3	7.5%	94.7	2.7%	95.3	2.4%	115.0	7.7%	117.0	12.6%
5月	112.2	8.5%	109.3	7.3%	94.9	3.4%	94.4	2.1%	115.2	7.6%	116.4	11.5%
6月	112.2	8.3%	110.4	7.5%	95.0	4.3%	95.3	3.1%	114.9	7.0%	121.3	11.8%
7月	113.1	8.7%	112.8	8.0%	95.0	3.8%	94.8	2.8%	120.9	9.3%	121.6	11.1%
8月	113.5	8.6%	113.4	7.7%	95.2	4.2%	95.4	3.2%	122.0	8.6%	121.8	10.5%
9月	115.0	8.9%	113.8	7.6%	96.5	4.8%	96.8	3.9%	121.8	7.9%	121.8	9.9%
10月	116.3	8.6%	114.9	7.5%	98.4	5.1%	98.3	5.5%	122.3	7.7%	123.3	10.8%
11月	115.6	7.2%	115.4	7.5%	99.6	5.8%	99.6	5.4%	122.8	8.0%	122.6	9.3%
12月	115.2	6.8%	115.3	7.5%	100.3	5.9%	100.0	5.3%	122.7	7.5%	122.0	9.5%

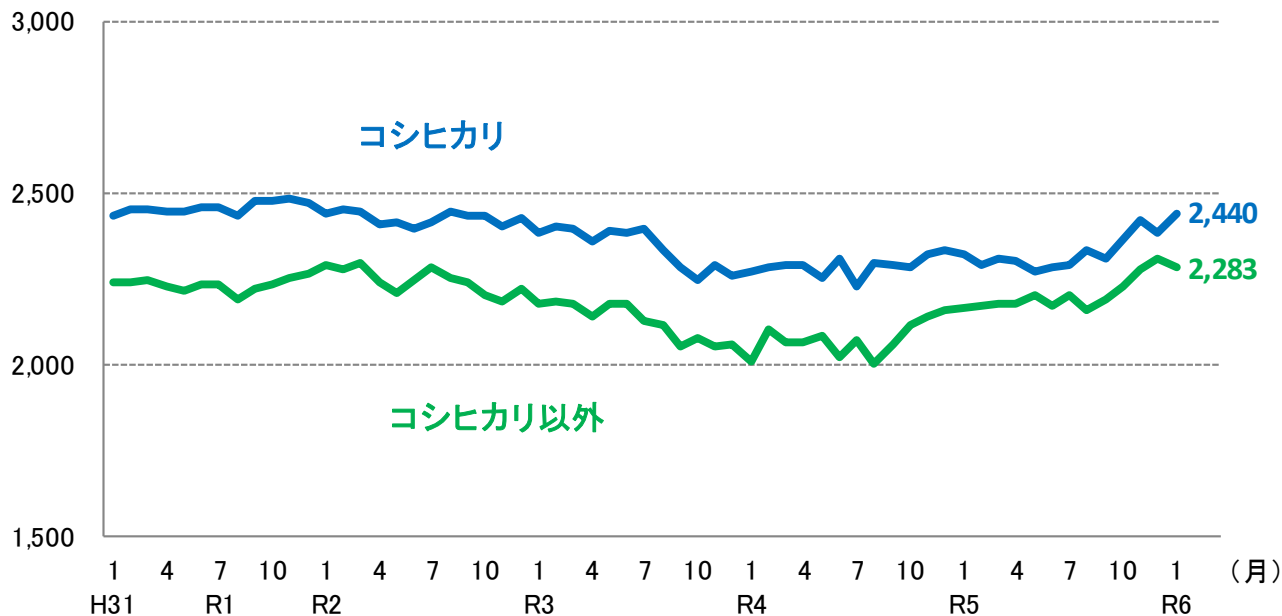
資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

- 注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 注2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
 注3：平成30年～令和4年のデータは年平均、5年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和6年1月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+5.2%の2,440円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+5.5%の2,283円。

(円/5kg、包装・消費税込み)



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	R1	R2	R3	R4	R5
コシヒカリ	2,457	2,426	2,344	2,288	2,323
前年比	0.2%	▲1.3%	▲3.4%	▲2.4%	1.5%
コシヒカリ以外	2,234	2,246	2,127	2,076	2,203
前年比	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%	6.1%

月次(令和4年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

月次(令和5年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310	2,367	2,422	2,386
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%	3.6%	4.3%	2.1%
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188	2,225	2,279	2,311
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%	5.3%	6.3%	6.9%

月次(令和6年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,440											
前年同月比	5.2%											
コシヒカリ以外	2,283											
前年同月比	5.5%											

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和5年12月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが104%、中食・外食事業者等向けが102%で、全体としては103%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年12月の販売数量と比較すると103%となる。
- 前年同月を基準にした令和5年12月の販売価格の値動きは、小売事業者向け107.6、中食・外食事業者等向け107.0。

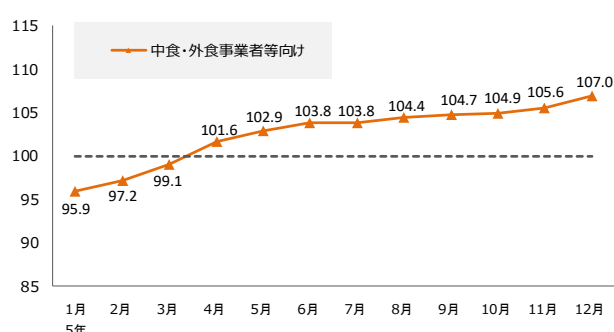
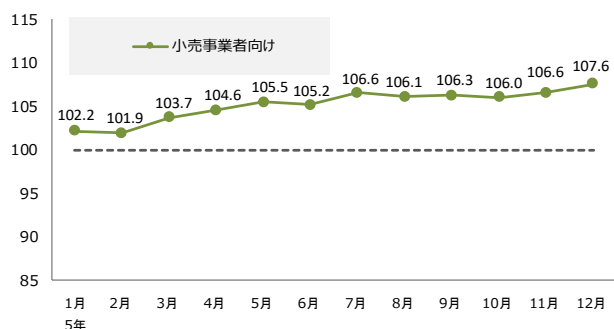
1 販売数量の動向（前年同月比）

	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月 ～12月計
小売事業者向け	97%	95%	99%	99%	97%	100%	96%	98%	97%	98%	100%	102%	98%
(※令和元年との比較)	(105%)	(102%)	(103%)	(100%)	(101%)	(102%)	(98%)	(104%)	(98%)	(97%)	(99%)	(104%)	(101%)
中食・外食事業者等向け	105%	101%	101%	103%	106%	104%	101%	109%	109%	104%	100%	100%	104%
(※令和元年との比較)	(90%)	(88%)	(92%)	(94%)	(93%)	(96%)	(92%)	(93%)	(98%)	(95%)	(94%)	(96%)	(94%)
販売数量計	101%	98%	100%	101%	101%	102%	98%	103%	102%	101%	100%	101%	101%
(※令和元年との比較)	(97%)	(95%)	(98%)	(97%)	(97%)	(99%)	(95%)	(98%)	(98%)	(96%)	(97%)	(100%)	(98%)

	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月 ～12月計
小売事業者向け	100%	101%	98%	101%	107%	100%	102%	104%	103%	105%	105%	104%	102%
(※令和元年との比較)	(104%)	(103%)	(102%)	(101%)	(108%)	(101%)	(99%)	(107%)	(100%)	(102%)	(104%)	(108%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	103%	107%	103%	102%	106%	104%	107%	106%	105%	105%	105%	102%	105%
(※令和元年との比較)	(93%)	(94%)	(94%)	(95%)	(99%)	(99%)	(97%)	(97%)	(102%)	(100%)	(100%)	(98%)	(97%)
販売数量計	101%	104%	100%	101%	107%	102%	104%	105%	104%	105%	105%	103%	103%
(※令和元年との比較)	(99%)	(99%)	(98%)	(98%)	(104%)	(101%)	(98%)	(102%)	(101%)	(101%)	(102%)	(103%)	(101%)

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

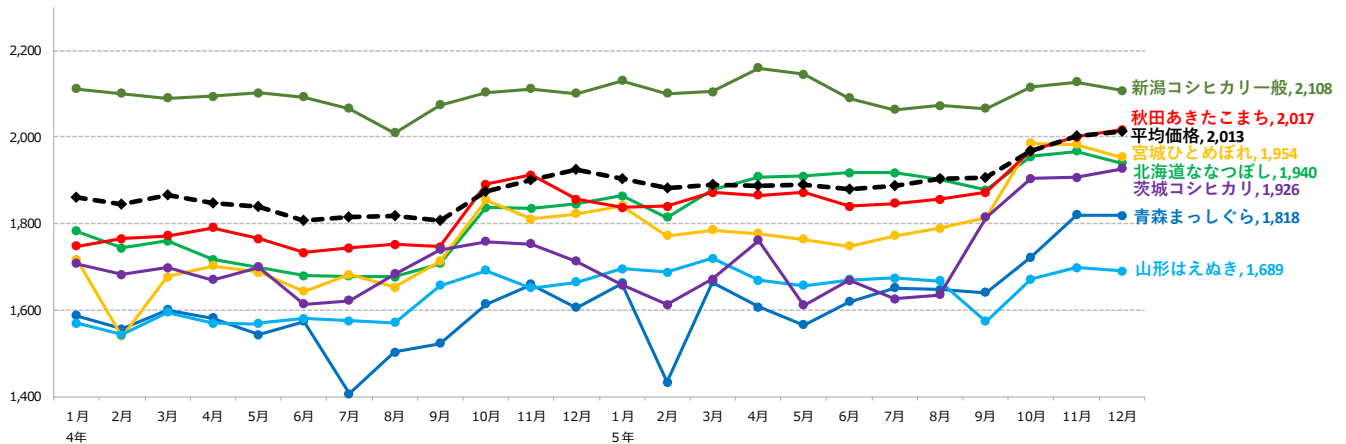
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

- 令和5年12月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+10円(+0.5%)、対前年同月差+89円(+4.6%)の2,013円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

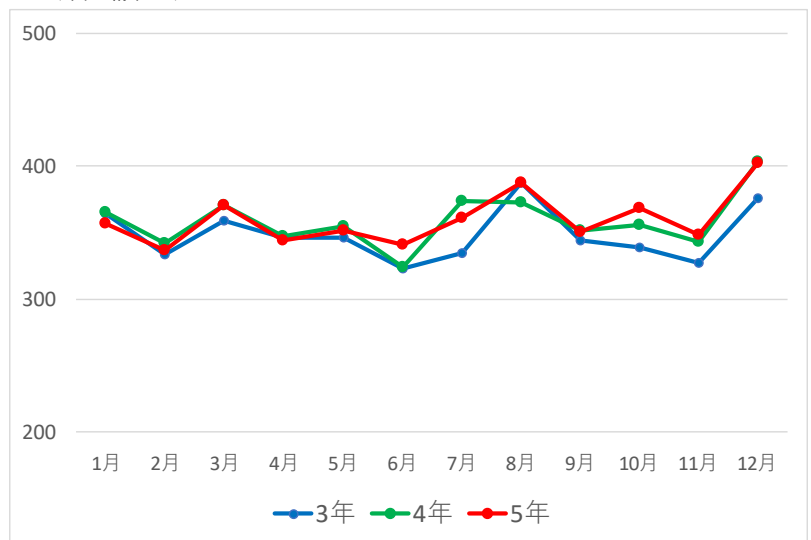
注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位: 精米トン、%)

	3年	4年	5年	対前年 同月比
		①	②	(②/①)
1月	365	366	357	98%
2月	334	342	337	99%
3月	359	371	371	100%
4月	347	348	344	99%
5月	346	355	352	99%
6月	323	324	341	105%
7月	335	374	361	97%
8月	388	373	388	104%
9月	344	352	351	100%
10月	339	356	369	104%
11月	327	343	349	102%
12月	376	404	403	100%

(単位: 精米トン)



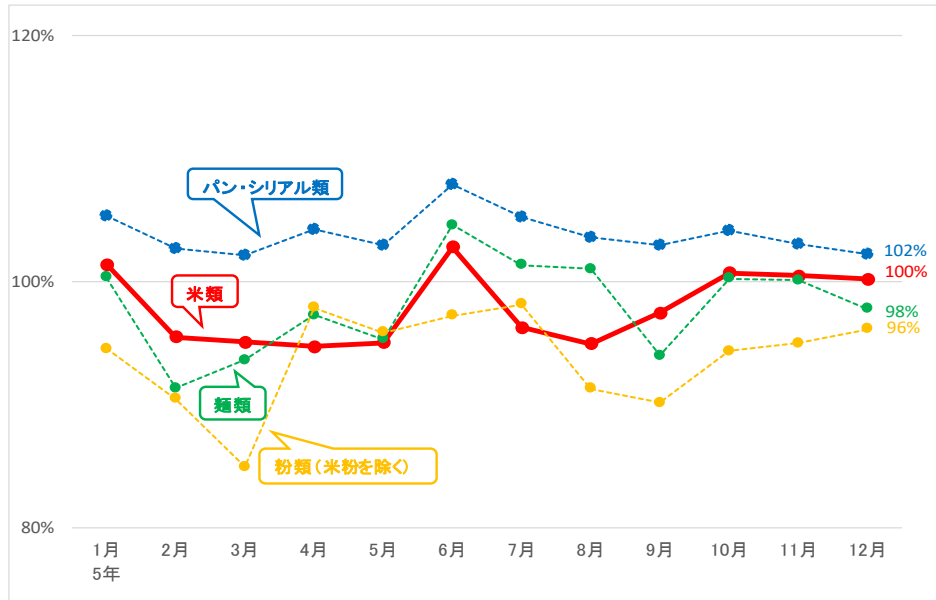
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】



分類コード	分類名	主な分類基準	5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米類	米	精米、玄米、もち米	99%	101%	100%	104%	102%	106%	107%	107%	105%	107%	109%	109%
	包装餅	切り餅、振餅	99%	91%	98%	102%	98%	102%	95%	93%	89%	97%	99%	
	米飯加工品		111%	103%	97%	99%	99%	107%	98%	94%	101%	105%	99%	
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売されるおかゆ、雑炊、リゾット	120%	96%	91%	90%	98%	111%	95%	82%	101%	111%	97%	
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌包装したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	107%	108%	102%	107%	103%	113%	104%	105%	102%	103%	103%	
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから炊飯したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	107%	101%	92%	90%	93%	91%	87%	88%	97%	101%	93%	
	冷凍米飯加工品		106%	99%	92%	85%	86%	97%	92%	89%	95%	100%	98%	
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、ドライカレー などの米飯群	102%	93%	85%	78%	79%	90%	86%	84%	91%	96%	93%	
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	105%	98%	93%	92%	92%	104%	97%	86%	88%	100%	104%	
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご飯、オムライス、カレーライス	115%	104%	91%	80%	83%	90%	82%	89%	88%	97%	87%	
	惣菜		156%	154%	123%	124%	114%	111%	109%	106%	100%	96%	95%	
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりとおかずがセットになった弁当	154%	153%	116%	118%	112%	113%	107%	105%	98%	96%	97%	
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、助六寿司、細巻き、太巻き、恵方巻き	174%	148%	149%	152%	130%	116%	109%	108%	102%	101%	111%	
	弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅弁、オムライス、炒飯	147%	181%	125%	124%	113%	106%	118%	109%	107%	89%	79%	
パン・シリアル類		105%	103%	102%	104%	103%	108%	105%	104%	103%	104%	103%		
食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	109%	105%	104%	107%	104%	109%	108%	108%	106%	106%	104%		
菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	103%	101%	99%	103%	103%	106%	103%	102%	101%	101%	100%		
調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	106%	103%	107%	103%	103%	112%	105%	100%	103%	108%	106%		
シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	85%	88%	94%	96%	94%	99%	103%	96%	100%	103%	105%		
麺類		100%	91%	94%	97%	95%	105%	101%	101%	94%	100%	98%		
インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	101%	91%	96%	99%	96%	109%	101%	101%	94%	102%	104%		
カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	98%	87%	92%	99%	97%	110%	103%	103%	91%	101%	97%		
生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば、焼きそば	103%	96%	96%	94%	93%	101%	101%	103%	99%	98%	99%		
スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	98%	90%	88%	103%	98%	103%	105%	100%	100%	112%	106%		
冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの種類	102%	94%	94%	97%	94%	99%	95%	92%	91%	97%	99%		
粉類(米粉を除く)		95%	90%	85%	98%	96%	97%	98%	91%	90%	94%	95%		
小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	88%	86%	72%	91%	89%	92%	98%	92%	89%	100%	97%		
パン粉	パン粉、生パン粉	98%	96%	92%	101%	98%	96%	94%	88%	92%	95%	92%		
プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	96%	90%	90%	101%	99%	102%	101%	93%	89%	91%	96%		
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出入り味噌	100%	94%	94%	97%	93%	96%	99%	95%	96%	98%		
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	111%	109%	94%	105%	106%	105%	103%	95%	93%	115%		
	米菓	煎餅、あられ、おかき	105%	101%	109%	118%	114%	118%	119%	117%	111%	110%		
	清酒		98%	95%	93%	96%	94%	97%	97%	94%	91%	96%		
	焼酎乙類		96%	94%	93%	93%	90%	92%	93%	88%	95%	98%		

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2023年のコメ・コメ加工品の輸出額は577億円（対前年比-6%）となった。
うちコメの輸出実績は対前年比+27%の94億円、米菓は+11%の61億円、日本酒は-13%の411億円、パックご飯等は+26%の10億円、米粉及び米粉製品は-21%の0.8億円。

品目名		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		(参考) 主な輸出先国・地域
							対前年比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	35,531トン	36,569トン	45,959トン	53,931トン	58,473トン	+8%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国
	金額	329億円	347億円	524億円	613億円	577億円	-6%	
コメ (援助米を除く)	数量	17,381トン	19,781トン	22,833トン	28,928トン	37,186トン	+29%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	46億円	53億円	59億円	74億円	94億円	+27%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,033トン	4,222トン	5,141トン	4,523トン	4,565トン	+1%	アメリカ 台湾 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	3,428トン	3,589トン	4,370トン	3,845トン	3,880トン	+1%	
	金額	43億円	45億円	56億円	55億円	61億円	+11%	
日本酒 (清酒)	数量	24,928 キログラム	21,761 キログラム	32,052 キログラム	35,894 キログラム	29,196 キログラム	-19%	中国 アメリカ 香港 韓国 台湾
	原料米換算	14,041トン	12,257トン	18,054トン	20,218トン	16,445トン	-19%	
	金額	234億円	241億円	402億円	475億円	411億円	-13%	
パックご飯等	数量	1,018トン	1,205トン	1,129トン	1,384トン	1,593トン	+15%	アメリカ 香港 台湾 韓国 シンガポール
	原料米換算	535トン	634トン	594トン	727トン	837トン	+15%	
	金額	5億円	7億円	6億円	8億円	10億円	+26%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量	118トン	249トン	88トン	173トン	101トン	-41%	アメリカ タイ ドイツ シンガポール 台湾
	原料米換算	146トン	308トン	108トン	213トン	125トン	-41%	
	金額	0.3億円	0.7億円	0.6億円	1.0億円	0.8億円	-21%	
コメ・パックご飯・米粉 及び米粉製品	数量 (原料米換算)	18,062トン	20,723トン	23,535トン	29,868トン	38,148トン	+28%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	52億円	60億円	66億円	83億円	105億円	+27%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注3：「(参考) 主な輸出先国・地域」は2023年1～12月の金額上位5か国・地域を記載。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2023年の商業用の米の輸出は、輸出数量が37,186トン（対前年比+29%）、輸出額が94億円（対前年比+27%）と、数量・金額ともに増加。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	37,186 (+29%)	9,411 (+27%)
香港	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	11,301 (+14%)	2,630 (+12%)
シンガポール	3,161	694	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	5,593 (-3%)	1,153 (-4%)
アメリカ	1,282	404	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	6,883 (+54%)	1,768 (+51%)
台湾	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	3,096 (+22%)	872 (+22%)
オーストラリア	635	197	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	1,204 (-3%)	386 (-1%)
中国	524	211	1,007	363	1,002	321	575	219	764	262	546 (-29%)	175 (-33%)
タイ	320	81	578	145	555	145	625	162	1,045	256	1,299 (+24%)	307 (+20%)
イギリス	422	121	450	131	451	131	332	104	526	162	587 (+12%)	193 (+19%)
カナダ	138	43	158	51	205	62	210	69	382	104	1,629 (+326%)	394 (+278%)
フランス	78	32	93	40	112	49	173	72	237	93	395 (+67%)	135 (+46%)
ドイツ	92	36	140	52	144	58	185	68	239	81	582 (+144%)	186 (+130%)
マレーシア	221	51	234	59	185	46	146	43	227	64	209 (-8%)	64 (-1%)
ロシア	120	43	174	64	199	72	227	79	151	58	254 (+68%)	93 (+59%)
ベトナム	118	37	213	65	159	46	167	48	219	54	296 (+35%)	74 (+35%)
アラブ首長国連邦	37	17	55	23	58	25	96	45	130	49	389 (+199%)	116 (+139%)
フィンランド	47	11	183	40	188	44	216	57	190	45	159 (-16%)	43 (-5%)
モンゴル	336	56	315	53	347	58	115	25	248	44	178 (-28%)	35 (-19%)
マカオ	65	27	62	26	43	21	118	48	69	33	62 (-10%)	29 (-13%)
フィリピン	17	7	11	4	26	8	59	20	84	33	396 (+371%)	113 (+247%)
オランダ	112	30	102	30	110	40	92	33	93	31	293 (+215%)	85 (+179%)
その他	206	105	279	113	256	89	543	217	466	193	1,835	561
(参考)EU ※	800	253	1,050	326	629	219	757	272	957	317	2,253 (+135%)	672 (+112%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2022年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

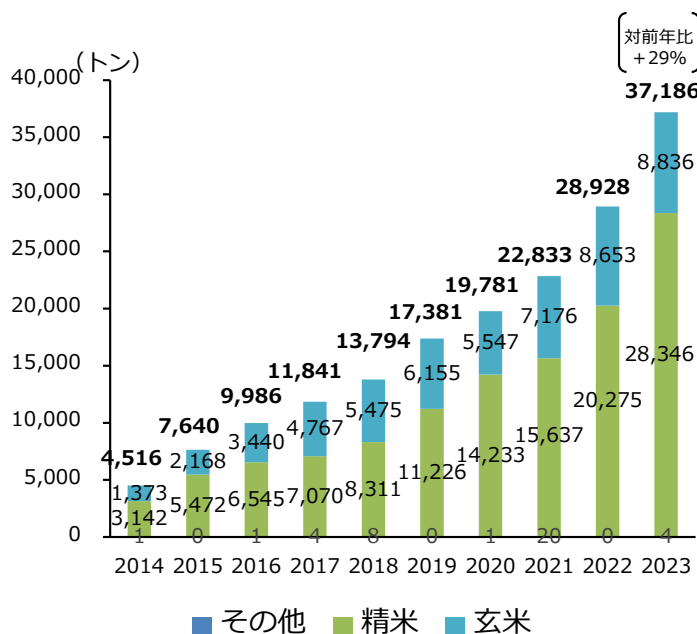
注2：（ ）内は対前年増減率である。

※：2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

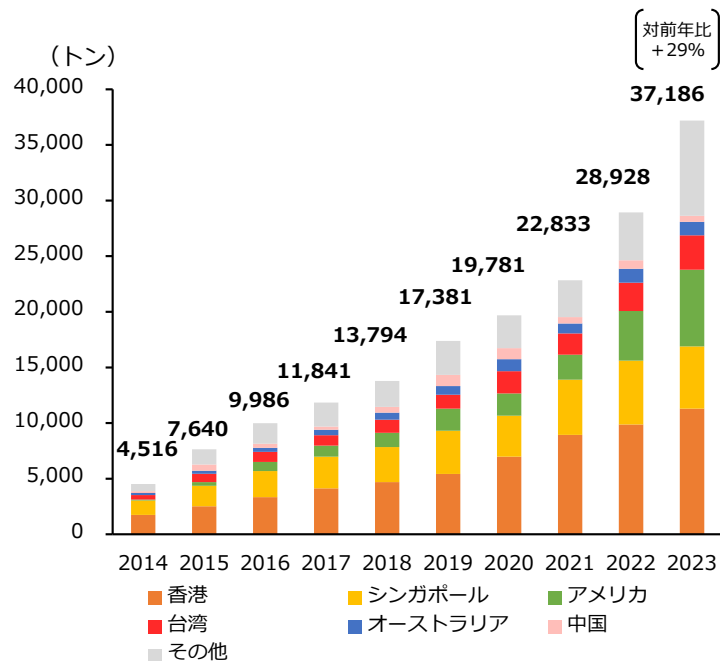
(3) 2023年のコメの輸出実績の主な増加要因

- ・ 2023年のコメ（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は37,186トン（対前年比+29%）、輸出額は94億円（対前年比+27%）に増加。
- ・ 特にアメリカにおいて、干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米のオーダーが増加したことから輸出が増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国・地域別輸出量の推移



香港 📈 11,301トン（対前年比+14%） 2,630百万円（対前年比+12%）

- ・ 現地の外食店において日本産米の取扱いが増加したことなどにより輸出が増加した。

アメリカ 📈 6,883トン（対前年比+54%） 1,768百万円（対前年比+51%）

カナダ 📈 1,629トン（対前年比+326%） 394百万円（対前年比+278%）

- ・ 干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米のオーダーが増加したことから輸出が増加した。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2023年の米菓の輸出は、輸出数量が4,565トン（対前年比+1%）、輸出額が61億円（対前年比+11%）と、数量・金額ともに増加。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)	4,565 (+1%)	6,098 (+11%)
アメリカ	1,112	1,134	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274	1,538	1,294 (+2%)	1,634 (+6%)
台湾	830	878	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945	1,150	941 (-0%)	1,242 (+8%)
香港	629	744	603	724	629	749	718	863	548	718	656 (+20%)	945 (+32%)
サウジアラビア	279	176	258	161	335	215	380	252	462	360	273 (-41%)	263 (-27%)
シンガポール	208	268	209	243	227	267	233	281	193	283	174 (-10%)	292 (+3%)
ベトナム	55	112	75	155	90	195	93	210	95	218	83 (-13%)	208 (-5%)
韓国	229	338	119	156	65	77	95	118	141	192	211 (+50%)	309 (+61%)
中国	61	123	87	160	76	139	220	315	112	186	86 (-23%)	163 (-12%)
オーストラリア	121	106	127	111	108	96	135	118	160	132	146 (-9%)	140 (+6%)
タイ	44	60	62	83	80	104	96	121	95	127	95 (+0%)	134 (+6%)
オランダ	81	87	58	61	68	73	93	114	65	94	83 (+28%)	119 (+27%)
マレーシア	25	29	39	41	53	56	89	101	66	76	75 (+14%)	98 (+28%)
カナダ	31	37	35	42	35	41	40	52	38	51	60 (+57%)	90 (+77%)
アラブ首長国連邦	19	28	16	23	9	14	9	13	35	43	19 (-46%)	31 (-27%)
北マリアナ諸島	20	25	19	25	18	25	25	37	19	32	15 (-21%)	30 (-7%)
ブラジル	37	38	40	41	26	27	24	24	28	30	40 (+41%)	49 (+63%)
グアム	19	23	19	24	21	27	22	34	19	30	19 (+1%)	35 (+17%)
フィリピン	23	22	27	27	26	27	33	33	20	26	31 (+53%)	38 (+47%)
ブルガリア	103	31	149	40	102	25	144	33	76	22	106 (+40%)	38 (+71%)
インドネシア	11	14	10	14	15	19	23	31	15	20	14 (-6%)	22 (+6%)
その他	119	152	128	160	117	155	135	179	118	175	144	219
(参考)EU ※	240	189	267	183	209	148	271	199	174	175	219 (+26%)	212 (+21%)

資料：財務省「貿易統計」
注1：2022年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。
注2：()内は対前年増減率である。
※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2023年の日本酒の輸出は、輸出数量が29,196キロリットル（対前年比-19%）、輸出額が411億円（対前年比-13%）と、数量・金額ともに減少。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,894 (+12%)	47,489 (+18%)	29,196 (-19%)	41,082 (-13%)
中国	4,146	3,587	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388	14,161	5,794 (-22%)	12,465 (-12%)
アメリカ	5,952	6,313	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084	10,930	6,502 (-28%)	9,091 (-17%)
香港	2,097	3,774	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717	7,116	2,328 (-14%)	6,024 (-15%)
韓国	5,351	2,212	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	4,054	2,523	4,192 (+3%)	2,905 (+15%)
シンガポール	610	837	609	857	688	1,113	919	1,802	917	2,326	698 (-24%)	1,510 (-35%)
台湾	2,238	1,351	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	3,076	2,222	3,104 (+1%)	2,677 (+20%)
カナダ	684	529	715	548	549	429	750	676	1,005	1,163	671 (-33%)	755 (-35%)
オーストラリア	502	446	483	439	525	491	747	730	806	932	532 (-34%)	645 (-31%)
ベトナム	462	440	437	376	342	279	328	298	693	706	388 (-44%)	453 (-36%)
マレーシア	283	244	253	242	309	278	334	334	582	626	312 (-46%)	381 (-39%)
イギリス	298	324	352	373	220	215	397	444	484	607	402 (-17%)	544 (-10%)
フランス	274	276	270	285	222	213	438	490	427	524	370 (-13%)	488 (-7%)
タイ	604	300	627	276	498	225	457	212	681	427	619 (-9%)	380 (-11%)
ドイツ	367	203	477	242	402	207	623	318	664	358	607 (-9%)	321 (-10%)
オランダ	223	161	247	142	288	178	460	273	484	341	323 (-33%)	318 (-7%)
マカオ	52	207	39	156	44	179	111	563	93	318	75 (-20%)	254 (-20%)
アラブ首長国連邦	54	59	52	55	41	38	107	175	158	257	48 (-69%)	93 (-64%)
イタリア	312	130	339	129	242	89	391	163	494	198	429 (-13%)	229 (+16%)
インドネシア	65	84	38	46	32	53	54	83	110	181	66 (-40%)	112 (-38%)
ブラジル	207	93	248	119	146	76	272	152	344	178	329 (-4%)	189 (+6%)
その他	965	660	1,059	709	733	629	1,260	1,058	1,631	1,396	1,409	1,250
(参考)EU ※	1,809	1,334	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,712	1,944	2,239 (-17%)	1,798 (-7%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：2022年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：()内は対前年増減率である。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2023年の包装米飯等の輸出は、輸出数量が1,593トン（対前年比+15%）、輸出額が10億円（対前年比+26%）と、数量・金額ともに増加。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)	1,593 (+15%)	996 (+26%)
アメリカ	407	159	442	167	447	169	454	177	545	255	635 (+16%)	341 (+34%)
香港	79	51	130	77	261	170	215	126	312	178	280 (-10%)	175 (-2%)
台湾	58	36	105	56	145	88	123	99	127	115	202 (+58%)	169 (+47%)
韓国	149	72	31	17	20	11	52	25	106	48	111 (+5%)	56 (+16%)
ベトナム	92	73	82	79	66	69	47	36	49	43	23 (-53%)	20 (-53%)
シンガポール	31	24	21	17	43	24	48	26	61	36	97 (+60%)	52 (+46%)
中国	20	14	96	42	68	43	44	27	55	29	16 (-72%)	10 (-68%)
タイ	40	17	63	27	75	34	83	39	57	26	69 (+22%)	32 (+23%)
ミャンマー	—	—	0	0	2	4	—	—	3	9	37 (+972%)	42 (+354%)
オランダ	5	3	4	3	4	5	1	2	4	7	5 (+35%)	9 (+32%)
フィリピン	1	0	4	4	3	3	2	2	5	7	11 (+122%)	10 (+51%)
インドネシア	4	3	5	4	10	6	12	7	9	6	14 (+55%)	9 (+43%)
カナダ	5	4	6	3	5	2	7	3	10	6	27 (+176%)	22 (+282%)
イギリス	10	4	9	4	10	5	8	4	5	4	13 (+140%)	10 (+169%)
ドイツ	—	—	0	1	0	1	2	3	4	3	1 (-77%)	2 (-34%)
オーストラリア	1	1	3	2	20	9	4	2	5	3	4 (-19%)	3 (+18%)
マレーシア	—	—	1	1	8	5	4	3	5	3	19 (+263%)	9 (+228%)
フランス	3	2	3	2	5	2	7	3	10	2	7 (-30%)	5 (+94%)
カンボジア	1	1	2	1	0	0	1	1	3	2	2 (-35%)	1 (-44%)
マカオ	0	0	3	3	2	2	4	2	2	2	1 (-70%)	1 (-57%)
その他	16	8	7	4	12	7	13	7	5	5	19	16

(参考)EU ※	18	9	17	11	14	9	13	8	21	15	16 (-24%)	20 (+37%)
----------	----	---	----	----	----	---	----	---	----	----	--------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2022年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食品のうち米のものを集計。（2017年1月から単独のコードとして独立。）

注3：（ ）内は対前年増減率である。

注4：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注5：数量0.5トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注6：金額0.5百万円未満の場合は、金額の欄が「0」と表記されている。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2023年の米粉の輸出は、輸出数量が76トン（対前年比-47%）、輸出額が49.6百万円（対前年比-27%）と、数量・金額ともに減少。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)	76 (-47%)	49.6 (-27%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40	16.6	27 (-33%)	14.5 (-13%)
ドイツ	11	3.4	—	—	6	2.7	42	15.9	14 (-67%)	4.4 (-72%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34	13.0	20 (-41%)	8.7 (-33%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5	8.2	3 (-40%)	6.7 (-17%)
フランス	—	—	0	0.4	0	0.8	1	4.9	0 (-100%)	3.0 (-38%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2	3.9	5 (+150%)	6.1 (+58%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2	1.7	3 (+50%)	2.0 (+22%)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	8	1.2	— (-100%)	— (-100%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2	1.0	2 (±0%)	1.4 (+33%)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8	0.9	— (-100%)	— (-100%)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	1	0.2	0	0.3	0 (注5)	0.5 (+102%)
カナダ	—	—	—	—	—	—	0	0.2	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	—	—	—	—	—	—	0	0.2	— (-100%)	— (-100%)
スペイン	1	0.7	—	—	—	—	—	—	— (注4)	— (注4)
ベトナム	0	0.3	—	—	—	—	—	—	0 (注4)	0.3 (注4)
ナイジェリア	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (注4)	0.2 (注4)
マレーシア	—	—	—	—	—	—	—	—	2 (注4)	1.0 (注4)
メキシコ	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (注4)	0.7 (注4)

(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59	22.9	14 (-76%)	7.5 (-67%)
----------	----	-----	---	-----	----	-----	----	------	--------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：数量1トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注4：対前年比を記載していないのは、貿易統計上2022年1月～12月の輸出実績が計上されていないため。

注5：対前年比を記載していないのは、貿易統計上2022年1月～12月の数量が1トン未満であるため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(8) 米粉麵等の輸出数量及び金額の推移

2023年の米粉麵等の輸出は、輸出数量が25トン（対前年比-12%）、輸出額が27.9百万円（対前年比-8%）と、数量・金額ともに減少。

	2020年		2021年		2022年		2023年	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)	25.4 (-12%)	27.9 (-8%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9	14.8	13.3 (+11%)	16.1 (+9%)
ドイツ	—	—	—	—	8.4	5.8	3.8 (-54%)	2.6 (-55%)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2	2.9	1.0 (-70%)	0.9 (-70%)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0	1.3	0.7 (-31%)	0.8 (-38%)
中国	—	—	0.3	0.6	0.7	1.2	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8	0.9	0.4 (-47%)	0.5 (-47%)
イスラエル	—	—	—	—	0.5	0.7	— (-100%)	— (-100%)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5	0.6	0.7 (+35%)	0.7 (+10%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7	0.6	1.1 (+71%)	0.8 (+33%)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6	0.6	0.6 (+6%)	0.7 (+11%)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2	0.3	— (-100%)	— (-100%)
台湾	—	—	0.3	0.2	0.2	0.3	— (-100%)	— (-100%)
スイス	—	—	—	—	0.2	0.2	— (-100%)	— (-100%)
タイ	—	—	0.2	0.2	—	—	— (注3)	— (注3)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	—	—	1.0 (注3)	1.9 (注3)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	—	—	1.0 (注3)	0.7 (注3)
ポルトガル	—	—	—	—	—	—	0.4 (注3)	0.5 (注3)
スロベニア	—	—	—	—	—	—	0.6 (注3)	0.6 (注3)
インドネシア	—	—	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.3 (注3)
ミャンマー	—	—	—	—	—	—	0.5 (注3)	1.0 (注3)

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：対前年比を記載していないのは、貿易統計上2022年1月～12月の輸出実績が計上されていないため。

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る ・現地系小売やレストランチェーンの深掘りにより、更なる市場開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	<ul style="list-style-type: none"> ・西海岸・東海岸では輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン、おにぎり店等や現地系、EC等の小売需要を開拓。現時点では進出がないが、人口が増加しており、日本食レストランの大幅な増加も期待される中部では、新たな市場として需要開拓を図る ・パックご飯や米粉の主要な輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	<ul style="list-style-type: none"> ・大手米卸等が日系外食店やEC、ギフトボックス等の贈答用に対応しており、更なる開拓を図る ・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る ・現地系小売やレストランチェーンの深掘りにより、更なる市場開拓を図る
台湾	5億円	9億円	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓 ・現地でジャポニカ米が生産されていることから、日本食レストランでの日本産米採用による他店舗との差別化により需要開拓を図る
その他	13億円	14億円	<ul style="list-style-type: none"> ・UAEや欧州、カナダ等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EU、英国を中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

<輸出産地数>

- ・ 30～40産地
(先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する)

<今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地

<生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進
- ・ 都道府県やJAグループとの連携などにより、更なる輸出産地の強化や掘り起こしを推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国・地域の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援
- ・ 国内流通も含め、低コスト化や作業効率の改善につながる産地から精米工場への推奨フレコンによる出荷や鉄道へのモーダルシフトを推進

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ （一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が策定した「中期計画」に基づく、主要輸出先国・地域での新たな購買層の深掘りや輸出事業者の進出が不十分な国・地域（UAE・欧州等）での市場開拓のための、輸出先国・地域のマーケット情報の収集・発信、プロモーション活動を実施。実施に際しては、他の品目団体や輸出支援プラットフォームとも連携。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用
- ・ 日本産米に対する理解を進めるため、輸出支援プラットフォームとも連携して、消費者と事業者に対し、日本産米の多様性や特徴をPRするなど、マーケットに応じた訴求を図る

<戦略的サプライチェーンの構築>

- ・ 国別地域別の特色を踏まえたマーケティング戦略の下での現地商流を構築するため、現地エージェントによる現地系スーパー・レストランの販路開拓
- ・ 輸出先国の需要に対応するため、輸出事業者や産地が連携して輸出用米を生産・調整する体制を構築

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	輸入方式別	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	-	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度	236	398	81	40	11	767	746	14
令和5年度 (1月末現在)	229	220	28	28	6	511	463	42

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和5年度）

（単位：実トン）

令和5年度(うるち)		令和4年度(うるち)	
令和5年4～6月分（長期契約）	12,448	令和4年4～6月分（長期契約）	14,233
4月分（月別契約）	310	4月分（月別契約）	244
5月分（月別契約）	384	5月分（月別契約）	743
6月分（月別契約）	560	6月分（月別契約）	375
令和5年4～6月小計	13,702	令和4年4～6月小計	15,595
7～9月分（長期契約）	16,008	7～9月分（長期契約）	16,305
7月分（月別契約）	161	7月分（月別契約）	239
8月分（月別契約）	339	8月分（月別契約）	436
9月分（月別契約）	978	9月分（月別契約）	478
令和5年7～9月小計	17,486	令和4年7～9月小計	17,458
10～12月分（長期契約）	17,526	10～12月分（長期契約）	14,136
10月分（月別契約）	448	10月分（月別契約）	363
11月分（月別契約）	383	11月分（月別契約）	285
12月分（月別契約）	1,354	12月分（月別契約）	381
令和5年10～12月小計	19,711	令和4年10～12月小計	15,165
令和6年1～3月分（長期契約）		令和5年1～3月分（長期契約）	17,812
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	271
2月分（月別契約）		2月分（月別契約）	223
3月分（月別契約）		3月分（月別契約）	327
令和6年1～3月小計		令和5年1～3月小計	18,633
令和5年度うるち合計	50,899	令和4年度うるち合計	66,851

令和5年度(もち)		令和4年度(もち)	
令和5年4～7月分	2,117	令和4年4～7月分	2,223
8～11月分	2,673	8～11月分	2,435
令和5年12～令和6年3月分		令和4年12～令和5年3月分	1,960
令和5年度もち合計	4,790	令和4年度もち合計	6,618

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和5年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和5年9月29日)	一般米	280		696						102		1,078
	砕精米	2,400										2,400
	計	2,680		696						102		3,478
第2回 (令和5年10月28日)	一般米	820		1,126		134		1,012		422		3,514
	砕精米	2,150										2,150
	計	2,970		1,126		134		1,012		422		5,664
第3回 (令和5年11月17日)	一般米	4,260		770	72	120				415		5,637
	砕精米	2,100		240								2,340
	計	6,360		1,010	72	120				415		7,977
第4回 (令和5年12月13日)	一般米	3,560	100	906	90	100				1,877		6,633
	砕精米	2,100	100	100						200		2,500
	計	5,660	200	1,006	90	100				2,077		9,133
第5回 (令和6年1月11日)	一般米	3,680	420	1,016		60		196				5,372
	砕精米	580	100									680
	計	4,260	520	1,016		60		196				6,052
第6回 (令和6年1月29日)	一般米	5,740	520	542		240				1,623		8,665
	砕精米	500	100							200		800
	計	6,240	620	542		240				1,823		9,465
令和5年度計	一般米	18,340	1,040	5,056	162	654	0	1,208	0	4,439	0	30,899
	砕精米	9,830	300	340	0	0	0	0	0	400	0	10,870
	計	28,170	1,340	5,396	162	654	0	1,208	0	4,839	0	41,769
令和4年度計 (参考)	一般米	54	1,116	4,111	184	0	0	0	0	3,793	0	9,258
	砕精米	908	300	1,360	316	200	0	0	0	1,400	0	4,484
	計	962	1,416	5,471	500	200	0	0	0	5,193	0	13,742
令和3年度計 (参考)	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 (参考)	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 (参考)	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和5年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 (令和5年5月23日)	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 (令和5年7月25日)	一般米	1,120	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	1,120	
第3回 (令和5年9月26日)	一般米	600	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	600	
第4回 (令和5年11月28日)	一般米	2,767	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	2,767	
第5回 (令和6年1月23日)	一般米	1,711	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	1,711	
令和5年度計	一般米	6,198	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,198	0
令和4年度計 (参考)	一般米	520	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	520	0
令和3年度計 (参考)	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 (参考)	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 (参考)	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

	合計			(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078
5年産	197,293	72,855	270,148	95,642	174,506

資料：農林水産省「加工用米生産量」

- 注1：「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、令和5年産は計画数量。
- 注2：参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。
- 注3：参考の平成27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。
- 注4：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン、ha)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲免耕用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール 用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	-	-	-	-	92	-
5年産	203,728	808,284	7,587	40,164	133,925	717,566	53,055	9,091	50,553	-	-	-	-	71	-

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20年産～令和5年産）」

- 注1：平成20、21年産の生産量は取組計画認定ベース。令和5年産の面積・生産量は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。
- 注2：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。
- 注3：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。
- 注4：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。
- 注5：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和5年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米		新規需要米				政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米	飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米				
全国	270,148	197,293	72,855	808,284	717,566	50,553	40,164	201,725	1,280,157
北海道	38,631	25,589	13,042	49,618	37,750	11,071	797	2,162	90,410
青森	4,981	4,580	401	49,657	47,658	1,925	73	27,259	81,897
岩手	7,051	5,591	1,460	33,206	30,763	2,273	170	3,488	43,745
宮城	3,431	2,388	1,044	58,760	53,183	5,019	559	11,600	73,792
秋田	48,268	26,177	22,090	28,853	24,066	2,901	1,885	21,572	98,692
山形	27,082	23,974	3,108	34,198	30,852	2,669	676	20,601	81,881
福島	2,529	2,054	474	64,102	63,226	815	62	24,773	91,404
茨城	5,029	4,658	370	77,426	73,080	4,052	294	935	83,390
栃木	8,316	8,160	156	87,744	80,193	380	7,171	6,123	102,183
群馬	6,993	6,993		9,053	8,229	1	824		16,046
埼玉	727	727	0	21,828	17,705	262	3,861		22,555
千葉	9,304	4,387	4,917	57,236	56,291	191	754	610	67,150
東京									
神奈川				66	66				66
新潟	39,515	22,281	17,234	40,744	22,012	8,760	9,972	25,109	105,369
富山	6,641	5,157	1,484	14,895	11,521	1,919	1,455	12,197	33,733
石川	2,622	1,961	661	8,175	5,825	350	2,001	7,849	18,646
福井	1,676	1,164	511	11,998	10,189	687	1,122	3,900	17,574
山梨	345	345		258	104		154		603
長野	4,482	4,259	223	4,465	2,749	1,561	155	609	9,556
岐阜	3,513	3,507	5	17,182	16,490	381	310	435	21,129
静岡	550	550		5,304	5,259	3	41	20	5,873
愛知	2,909	2,708	201	11,802	10,216	218	1,368	846	15,557
三重	840	761	79	12,842	12,113	257	471	270	13,952
滋賀	3,152	2,759	393	11,869	10,480	1,090	300	1,342	16,364
京都	2,798	2,784	14	838	664	123	51		3,636
大阪	0	0		54	29		25		55
兵庫	3,405	3,125	279	5,317	4,162	915	239		8,721
奈良	96	96		448	258		190		545
和歌山				18	14		4		18
鳥取	130	130		4,427	4,259	166	2	400	4,957
島根	1,321	1,280	41	4,209	4,161	12	36	130	5,659
岡山	1,613	1,529	84	11,286	9,629	1,045	613	846	13,745
広島	1,865	1,783	82	3,125	2,373	232	520	20	5,011
山口	5,036	4,944	91	6,231	5,567	447	216		11,266
徳島	96	94	2	4,968	4,726	190	52	930	5,994
香川	238	238		1,158	980	144	34		1,396
愛媛	170	170		1,698	1,671		27		1,868
高知	416	416		5,059	4,976		83	10	5,485
福岡	1,143	628	516	13,906	12,240	63	1,603	54	15,103
佐賀	2,203	244	1,959	4,440	4,294	45	102	220	6,863
長崎	30	30		646	578	47	21		675
熊本	3,560	1,737	1,823	10,446	8,595	211	1,640	247	14,252
大分	721	721		9,895	9,819	10	66	94	10,710
宮崎	9,921	9,921		4,571	4,360	107	104		14,492
鹿児島	6,751	6,641	109	4,254	4,187	7	60		11,004
沖縄	50	50		8	5		3		59

資料：農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和5年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和5年産備蓄米の政府買入入札の結果」

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分27,074トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
いわいだわら、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば、笑たわわ、亜細亜のかおり

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	みほひかり
福島県	たちすがた、アキヒカリ、まいひめ	岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり	広島県	中生新千本、ハウレイ
栃木県	月の光	山口県	あきだわら
群馬県	月の光	徳島県	あきだわら
埼玉県	むさしの26号	愛媛県	媛育71号
千葉県	アキヒカリ、初星	高知県	とよめき、ちはるか
長野県	ふくおこし	福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
静岡県	どんとこい、あきだわら	佐賀県	レイハウ、さがうらら
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい	長崎県	夢十色
富山県	やまだわら、アキヒカリ	熊本県	タチアオバ、越のかおり
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら	大分県	タチアオバ
福井県	あきだわら、シャインパール	宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号、ひなたみのり
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ	鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミュタカ、夢十色、夢はやと、くいつき
愛知県	タチアオバ、もみゆたか		

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
北瑞穂、ふくのこ、ミズホチカラ、笑たわわ、亜細亜のかおり、ほしのこ、こなだもん、越のかおり、あみちゃんまい

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ
宮崎県	ひなたみのり

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年 (1~11月)	対前年 同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	403,739	103%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	38,326	130%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	191,494	98%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	166,342	104%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	2,636	87%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	422	422	451	372	87%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	4,568	94%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	185,019	96%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	81,803	96%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	103,216	96%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	411,762	98%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	351,812	98%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	28,535	100%
(麦みそ)	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	11,900	99%
(豆みそ)	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	19,515	92%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	88,035	105%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	38,953	100%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	8,791	100%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	3,910	106%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	1,395	101%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	1,013	993	1,008	665	70%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	935	97%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,727	104%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	31,658	116%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	62,313	106%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	331,248	96%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	142,121	138,084	145,234	122,741	101%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	19,682	19,464	19,703	15,643	96%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	40,362	41,611	45,519	40,491	106%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	54,729	52,669	55,211	46,679	100%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	27,349	24,339	24,800	19,929	99%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	276,386	266,215	259,252	208,508	94%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	327,205	94%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	176,801	164,226	165,229	137,579	93%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	31,507	29,552	29,867	26,111	98%
(麦焼酎)	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	168,352	162,420	163,478	136,399	94%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和5年は概算値。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和2米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲3万トンの約92万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約72万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約76%。残りの約24%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に加工用米の使用量が減少し、特定米穀の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	4	6					10
味噌用		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		4	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	9
その他用	1	2		1	1		4
合計	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		2	1	4	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約10万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しようちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号）であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。
なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

<うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
味噌用	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
米穀粉用	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
その他用	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
合計	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
米菓用	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
その他用	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
合計	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19

注1: 日本酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しようちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成 10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年 (1~11月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	404	404	331	96%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	138	145	123	101%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	19	20	16	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	42	46	40	106%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	53	55	47	100%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	24	25	20	99%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	266	259	209	94%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和5年は概算値。

注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成 10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年 (1~11月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	32	36	27	80%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	9	9	6	68%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	7	7	5	79%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	88%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	99%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	2	4	4	105%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	8	10	7	74%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降、特定名称酒も減少に転じたこと等から、令和3年産には約18万トン（対前年比+2%）まで減少。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	平成 10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和 元年産	2年産	3年産	対前年比 3/2年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	206	180	184	102%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	83	70	67	96%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	85	63	67	106%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	38	47	50	106%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産をピークに減少傾向で推移。
- 令和2年産及び令和3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量についても大幅に減少。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成					令和					対前年産比			
	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産		2年産	3年産	4年産
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	106.3%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,549	37,257	38,431	33,916	34,644	28,342	27,609	28,168	102.0%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,767	17,561	13,612	14,970	110.0%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	98.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	116.9%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,446	33,337	33,514	31,607	32,636	31,578	27,429	29,915	109.1%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和5年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和5年産が82～83千トン程度、令和6年産が82～84千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	令和3年産	4年産		5年産		6年産	
			対3年産比		対3年産比		対3年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	57,208	62,826	109.8%	70,672	123.5%	71,277	124.6%
山田錦	23,771	25,500	107.3%	29,647	124.7%	29,776	125.3%
五百万石	10,666	12,030	112.8%	13,346	125.1%	13,316	124.9%
美山錦	3,345	3,450	103.1%	3,996	119.5%	4,093	122.4%
雄町	1,189	1,407	118.3%	1,445	121.5%	1,436	120.7%
その他	18,237	20,439	112.1%	22,238	121.9%	22,657	124.2%
酒造好適米の全体需要量(推計)	66～68千トン	73～74千トン		82～83千トン		82～84千トン	

資料：「令和5年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和5年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和5年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約85～86%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。
URL : https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

1 米の需給

主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和5年10月19日))

需給-1

2 米の在庫情報

令和3・4年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)

在庫-1

Excel

3 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和4年産)
- 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)
- 3 米の現物市場の状況

価格-1

Excel

価格-4

価格-5

4 米の契約・販売情報

- 1 令和4年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)
- 2 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和5年産)

契約-1

Excel

契約-7

5 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金等
- (2) 畑地化促進事業
- (3) 畑作物産地形成促進事業
- (4) コメ新市場開拓等促進事業
- (5) 小麦・大豆の国産化の推進
- (6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
- (7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
- (8) 収入保険
- (9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業
- (10) コロナ影響緩和特別対策
- (11) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援-1

支援-2

支援-3

支援-4

支援-6

支援-7

支援-9

支援-12

支援-14

支援-16

支援-17

6 その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果
- (2) 国産飼料用米の需要情報
- (3) 麦・大豆の需要情報
 - ① 令和6年産麦の産地別銘柄別入札結果
 - ② 令和5年産大豆の産地品種銘柄別入札結果
- (4) 野菜等の需給情報
- (5) 令和5年産水稻の収穫量
- (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移

その他-1

その他-2

その他-4

その他-6

その他-11

その他-15

その他-21

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。







Android



iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>